

# 市原市文化財センター年報

平成15・16年度

財団法人 市原市文化財センター

## 序

平成15年度は、公共・民間合わせて15事業、平成16年度は14事業を実施しました。平成15年度の事業内容は、確認調査2、本調査4、確認調査・整理2、本調査・整理2、整理・報告4、整理1、平成16年度の事業内容は、確認調査2、本調査2、確認・本調査・整理1、確認・本調査・整理・報告1、本調査・整理・報告2、整理・報告2、整理4事業となります。

発掘調査に比べ整理報告事業が主体となる事業展開はここ数年の傾向であり、発掘調査だけではわからなかった各遺跡の詳細な内容が、その後の整理作業を経て次々と明らかにされています。その内容は、縄文時代から中世に至る長きにわたり、市内の歴史を知る上で貴重な成果であります。とくに、海上地区のは場整備に先立って実施された西野遺跡群の調査は、対象面積40万㎡を超える広大なもので、平成9年より7ヵ年にわたり続けられてきましたが、発掘調査も終了し平成15年度よりようやく本格的な整理作業が開始され、海上郡衙推定地の実体の一部が解明されつつあります。また、市道13号線の建設に先立って平成13年度より2ヵ年にわたって実施された南岩崎遺跡の調査では、弥生時代から古墳時代にかけての集落跡とこれに伴う膨大な遺物が発見されましたが、この整理作業についても平成16年度より開始されています。

一方、昭和40年代より国分寺台地区の土地区画整理事業に先立って実施された多数の遺跡については、平成6年より整理作業が開始され、その成果は報告書として順次刊行しております。平成15年度には辺田古墳群・御林跡遺跡、山倉古墳群、平成16年度には西広貝塚の一部、加茂遺跡、根田代遺跡の報告書を刊行しました。このうち、山倉古墳群の整理作業では、山倉1号墳から出土した埴輪のハケメの分析により、これらの埴輪が埼玉県鴻巣市の生出塚遺跡で作られ、そこから運ばれたものであることを確定した画期的な成果となりました。この成果については、平成16年8月に「はにわの来たち」と題した夏季特別展として実施し、1ヶ月という短期間ではありましたが多数の方々から好評をいただきました。今後も、このような特別展示や遺跡発表会等を通じて市内の埋蔵文化財に関する情報を公開し、多くの人びとに「活用」されるように努めてまいりたいと考えております。

最後になりましたが、日ごろよりご指導・ご協力を賜っております千葉県教育庁、市原市教育委員会、ならびに関係各位に厚くお礼申し上げます。

平成17年3月

財団法人 市原市文化財センター  
理事長 石 川 剛

# 目 次

## 序

|                |   |
|----------------|---|
| I 機構 .....     | 1 |
| II 事業概要 .....  | 2 |
| III 調査概要 ..... | 6 |

### 平成15年度

|                       |    |
|-----------------------|----|
| 1. 姉崎山新遺跡（第3地点） ..... | 8  |
| 2. 西野遺跡群D地点 .....     | 10 |
| 3. 西野遺跡群D地点 .....     | 10 |
| 4. 西野遺跡群D地点 .....     | 10 |
| 5. 南岩崎遺跡 .....        | 11 |
| 6. 市原条里制遺跡 .....      | 12 |
| 7. 八幡御墓堂遺跡 .....      | 13 |
| 8. 史跡上総国分寺跡 .....     | 14 |
| 9. 潤井戸西山遺跡C地点 .....   | 15 |
| 10. 姉崎山新遺跡 .....      | 16 |
| 11. 潤井戸遺跡群下宿地区 .....  | 17 |
| 12. 潤井戸西山遺跡 .....     | 18 |
| 13. 東関山古墳 .....       | 20 |

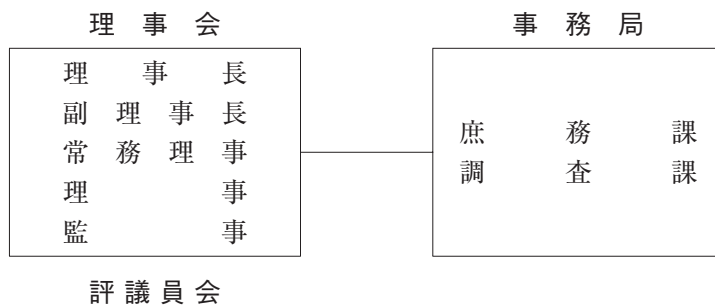
### 平成16年度

|                         |    |
|-------------------------|----|
| 14. 能満城跡遺跡 .....        | 22 |
| 15. 松崎中里遺跡 .....        | 24 |
| 16. 仲山遺跡 .....          | 24 |
| 17. 市原条里制遺跡蛇崎八石地区 ..... | 25 |
| 18. 潤井戸西山遺跡D地点 .....    | 26 |
| 19. 不入遺跡 .....          | 27 |
| 20. 潤井戸西山遺跡 .....       | 27 |
| 21. 姉崎山新遺跡 .....        | 27 |
| 22. 江子田遺跡 .....         | 28 |
| 23. 郡本遺跡 .....          | 28 |
| 補遺 山倉古墳群発掘調査報告書 .....   | 29 |
| IV 図書受領先一覧 .....        | 32 |

# I 機 構

財団法人市原市文化財センターの機構は、役員および職員から構成されている。役員は、寄付行為の定めにより、理事長、副理事長、常務理事、理事、監事をもって構成され、別に評議会を設置している。平成15・16年度の組織および役職員氏名は以下のとおりである。

## 1. 組 織



## 2. 平成15年度役職員名簿

### 役 員

| 職 名   | 現 職 名      | 氏 名    | 備 考          |
|-------|------------|--------|--------------|
| 理 事 長 | 教育総務部長     | 根本 義男  | 平成15年7月31日まで |
|       | 副教育長       | 藤本 康男  | 平成15年8月1日より  |
| 副理事長  | 生涯学習部長     | 鎗田 誠   |              |
| 常務理事  | 専任         | 小茶 文夫  |              |
| 理 事   | 國學院大學講師    | 加藤 晋平  |              |
| 理 事   | 和洋女子大学名誉教授 | 寺村 光晴  |              |
| 理 事   |            | 竹内 豊   |              |
| 理 事   | 総務部長       | 小倉 敏男  | 平成15年7月31日まで |
|       | 総務部長       | 藤田 国昭  | 平成15年8月1日より  |
| 理 事   | 財政部長       | 藤田 国昭  | 平成15年7月31日まで |
|       | 財政部長       | 根本 義男  | 平成15年8月1日より  |
| 理 事   | 土木部長       | 鳥海 清宏  |              |
| 理 事   | 都市整備部長     | 桐石 定幸  |              |
| 監 事   | 出納室長       | 伊藤 正男  | 平成15年7月31日まで |
|       | 出納室長       | 小野 高啓一 | 平成15年8月1日より  |
| 監 事   | 教育総務課長     | 清水 英夫  | 平成15年7月31日まで |
|       | 教育総務課長     | 永野 喜光  | 平成15年8月1日より  |

### 評 議 員

| 職 名   | 現 職 名          | 氏 名   | 備 考 |
|-------|----------------|-------|-----|
| 評 議 員 | 市原市文化財研究会会長    | 小川 八紀 |     |
| 評 議 員 | 江戸川女子短期大学教授    | 鈴木 仲秋 |     |
| 評 議 員 | 市原中央高等学校校長付    | 常澄 良平 |     |
| 評 議 員 |                | 山口 唯一 |     |
| 評 議 員 | 株式会社岡本薬局代表取締役  | 岡本 良一 |     |
| 評 議 員 | 丸山緑化土木産業株式会社社長 | 丸山 定男 |     |
| 評 議 員 | 東海大学付属望洋高等学校教諭 | 鮎川真由美 |     |
| 評 議 員 |                | 桑原東太郎 |     |
| 評 議 員 | 公認会計士・税理士      | 小林 廣美 |     |
| 評 議 員 | 市原市立八幡中学校教頭    | 中村 哲弥 |     |

### 職 員

| 所 属   | 職 名    | 氏 名   | 備 考          |
|-------|--------|-------|--------------|
| 庶 務 課 | 課長事務取扱 | 小茶 文夫 |              |
|       | 副主査    | 大鐘 光江 |              |
|       | 主任     | 高浦 貞子 |              |
|       | 嘱託     | 辻 葉子  |              |
|       | 嘱託     | 常澄 智子 |              |
|       |        |       |              |
| 調 査 課 | 課長     | 宮本 敬一 | 平成15年8月1日より  |
|       | 課長補佐   | 西野 雅人 |              |
|       | 主幹     | 安井 健一 |              |
|       | 副主幹    | 田中 清美 | 平成15年7月31日まで |
|       | 副主幹    | 大村 直  |              |
|       | 副主幹    | 浅利 幸一 |              |

| 所 属   | 職 名 | 氏 名   | 備 考         |
|-------|-----|-------|-------------|
| 調 査 課 | 副主幹 | 近藤 敏  |             |
|       | 副主幹 | 高橋 康男 |             |
|       | 副主幹 | 木對 和紀 |             |
|       | 副主幹 | 忍澤 成視 | 平成15年8月1日より |
|       | 主査  | 小川 浩一 |             |
|       | 主査  | 櫻井 敦史 |             |
|       | 副主査 | 鶴岡 英一 |             |
|       | 副主査 | 小橋 健司 |             |
|       | 主任  | 阿部 茂之 |             |
|       | 嘱託  | 半田 堅三 |             |

### 3. 平成16年度役職員

#### 役 員

| 職 名   | 現 職 名      | 氏 名   |
|-------|------------|-------|
| 理 事 長 | 副教育長       | 石川 剛  |
| 副理事長  | 生涯学習部長     | 鎗田 誠  |
| 常務理事  | 専任         | 小茶 文夫 |
| 理 事   | 國學院大學講師    | 加藤 晋平 |
| 理 事   | 和洋女子大学名誉教授 | 寺村 光晴 |
| 理 事   |            | 竹内 豊  |
| 理 事   | 総務部長       | 川崎 正義 |
| 理 事   | 財政部長       | 根本 義男 |
| 理 事   | 土木部長       | 黒須 大市 |
| 理 事   | 都市整備部長     | 星野 鴻一 |
| 監 事   | 出納室長       | 渡辺 三男 |
| 監 事   | 教育総務課長     | 高橋 優  |

#### 評 議 員

| 職 名   | 現 職 名          | 氏 名   |
|-------|----------------|-------|
| 評 議 員 | 市原市文化財研究会会長    | 小川 八紀 |
| 評 議 員 | 江戸川女子短期大学教授    | 鈴木 仲秋 |
| 評 議 員 | 市原中央高等学校校長付    | 常澄 良平 |
| 評 議 員 |                | 山口 唯一 |
| 評 議 員 | 株式会社岡本薬局代表取締役  | 岡本 良一 |
| 評 議 員 | 丸山緑化土木産業株式会社社長 | 丸山 定男 |
| 評 議 員 | 東海大学付属望洋高等学校教諭 | 鮎川真由美 |
| 評 議 員 |                | 桑原東太郎 |
| 評 議 員 | 公認会計士・税理士      | 小林 廣美 |
| 評 議 員 | 市原市立八幡中学校教頭    | 中村 哲弥 |

#### 職 員

| 所 属   | 職 名    | 氏 名   | 備 考 |
|-------|--------|-------|-----|
| 庶 務 課 | 課長事務取扱 | 小茶 文夫 |     |
|       | 副主査    | 大鐘 光江 |     |
|       | 主任     | 高浦 貞子 |     |
|       | 嘱託     | 辻 葉子  |     |
|       | 嘱託     | 常澄 智子 |     |
| 調 査 課 | 課長     | 宮本 敬一 |     |
|       | 課長補佐   | 西野 雅人 |     |
|       | 主幹     | 安井 健一 |     |
|       | 主幹     | 近藤 敏  |     |
|       | 主幹     | 高橋 康男 |     |

| 所 属   | 職 名 | 氏 名   | 備 考          |
|-------|-----|-------|--------------|
| 調 査 課 | 副主幹 | 大村 直  |              |
|       | 副主幹 | 浅利 幸一 |              |
|       | 副主幹 | 木對 和紀 |              |
|       | 副主幹 | 忍澤 成規 |              |
|       | 主査  | 小川 浩一 |              |
|       | 主査  | 櫻井 敦史 |              |
|       | 副主査 | 鶴岡 英一 |              |
|       | 副主査 | 小橋 健司 |              |
|       | 主任  | 阿部 茂之 |              |
|       | 嘱託  | 半田 堅三 | 平成16年7月31日まで |

## II 事業概要

### 1. 平成15年度

#### (1) 理事会

第1回 平成15年5月20日

議案第1号 平成14年度財団法人市原市文化財センター事業報告の承認について

議案第2号 平成14年度財団法人市原市文化財センター収入支出決算の承認について

第2回 平成15年9月22日

議案第1号 財団法人市原市文化財センター職員旅費支給規程の一部を改正する規程の制定について

議案第2号 平成15年度財団法人市原市文化財センター補正予算（第1号）について

第3回 平成15年12月1日

議案第1号 財団法人市原市文化財センター職員給与規程の一部を改正する規程の制定について

第4回 平成16年3月30日

議案第1号 平成15年度財団法人市原市文化財センター補正予算（第2号）について

議案第2号 平成16年度財団法人市原市文化財センター事業計画について

議案第3号 平成16年度財団法人市原市文化財センター収入支出予算について

(2) 評議員会

第1回 平成15年5月20日

議案第1号 平成14年度財団法人市原市文化財センター事業報告の承認について

議案第2号 平成14年度財団法人市原市文化財センター収入支出決算の承認について

第2回 平成15年7月31日

議案第1号 財団法人市原市文化財センター役員の選任について

第3回 平成15年9月22日

議案第1号 平成15年度財団法人市原市文化財センター補正予算（第1号）について

第4回 平成16年3月30日

議案第1号 平成16・17年度財団法人市原市文化財センター役員の選任について

議案第2号 平成15年度財団法人市原市文化財センター補正予算（第2号）について

議案第3号 平成16年度財団法人市原市文化財センター事業計画について

議案第4号 平成16年度財団法人市原市文化財センター収入支出予算について

(3) 平成15年度の会計監査は、平成16年5月18日財団法人市原市文化財センターにおいて、渡辺三男監事、高橋優監事により実施した。

(4) 受託事業

| 番号 | 事業名                         | 遺跡名                              | 種別 | 事業内容    | 面積        | 契約年月日       | 受託金額<br>(円) |
|----|-----------------------------|----------------------------------|----|---------|-----------|-------------|-------------|
| 1  | 八幡椎津線（姉崎）築造舗装工事に伴う埋蔵文化財調査委託 | 山新遺跡                             | 公共 | 本調査     | 3,280㎡    | 平成15年6月6日   | 35,655,900  |
| 2  | 草刈・西広線整備埋蔵文化財調査委託（本調査）      | 西野遺跡群                            | 公共 | 本調査     | 117㎡      | 平成15年8月19日  | 911,400     |
| 3  | 市道13号埋蔵文化財調査委託              | 南岩崎遺跡                            | 公共 | 確認調査    | 2,500㎡    | 平成15年8月12日  | 2,301,600   |
| 4  | 若宮都市下水路建設埋蔵文化財調査委託（本調査）     | 市原条里制遺跡                          | 公共 | 本調査     | 845㎡      | 平成15年4月16日  | 7,016,100   |
| 5  | 八幡宿駅東口土地区画整理事業に伴う埋蔵文化財調査    | 八幡御墓堂遺跡                          | 公共 | 確認調査    | 1,815.81㎡ | 平成15年10月29日 | 2,758,350   |
| 6  | 海上地区遺跡発掘調査（文化庁分）            | 西野遺跡群                            | 公共 | 本調査     | 685㎡      | 平成15年7月17日  | 3,458,304   |
|    |                             |                                  |    | 整理      | 402,440㎡  | 平成15年7月17日  | 1,041,696   |
| 7  | 市内遺跡発掘調査事業                  | 山新遺跡・潤井戸遺跡群下宿地区・草刈尾梨遺跡・東関山古墳     | 公共 | 確認調査・整理 | 552㎡      | 平成15年4月10日  | 6,935,000   |
| 8  | 史跡上総国分寺整備にかかわる文化財調査         | 上総国分僧寺跡                          | 公共 | 確認調査・整理 | 367㎡      | 平成15年4月9日   | 3,424,861   |
| 9  | 海上地区県営ほ場整備事業に伴う埋蔵文化財調査（農林分） | 西野遺跡群                            | 公共 | 本調査     | 5,265㎡    | 平成15年7月1日   | 19,597,056  |
|    |                             |                                  |    | 整理      | 402,440㎡  | 平成15年9月3日   | 5,902,944   |
| 10 | 市道110号線埋蔵文化財調査委託            | 不入斗遺跡群                           | 公共 | 整理・報告   | 7,420㎡    | 平成15年4月17日  | 8,889,300   |
| 11 | 総合防災施設埋蔵文化財委託（整理）           | 大山台遺跡                            | 公共 | 整理・報告   | 28,650㎡   | 平成15年4月1日   | 9,410,100   |
| 12 | 国分寺台地区文化財整理事業               | 西広貝塚・根田遺跡・根田代遺跡・加茂遺跡・山倉古墳群・御林跡遺跡 | 公共 | 整理・報告   | 58,020㎡   | 平成15年4月1日   | 100,000,000 |

| 番号  | 事業名                                        | 遺跡名     | 種別 | 事業内容  | 面積      | 契約年月日         | 受託金額<br>(円) |
|-----|--------------------------------------------|---------|----|-------|---------|---------------|-------------|
| 13  | 国分寺台遺跡群発掘調査整理報告事業                          | 上総国分僧寺跡 | 公共 | 整理    | 58,750㎡ | 平成15年 9 月12日  | 8,504,170   |
| 14  | 移動通信用無線基地局建設に伴う埋蔵文化財（菊間遺跡群）調査委託（本調査、整理・報告） | 菊間遺跡群   | 民間 | 整理・報告 | 240㎡    | 平成15年 2 月 5 日 | 2,247,000   |
| 15  | コンビニエンスストア建設に伴う埋蔵文化財調査委託（本調査、整理・報告）        | 草刈尾梨遺跡  | 民間 | 本調査   | 354㎡    | 平成15年 8 月28日  | 2,259,487   |
| 合 計 |                                            |         |    |       |         |               | 220,313,268 |

## 継続事業

| 番号 | 事業名                                        | 遺跡名<br>(面積) | 種別 | 総額<br>(円) | 年 度    | 金 額<br>(円) |
|----|--------------------------------------------|-------------|----|-----------|--------|------------|
| 14 | 移動通信用無線基地局建設に伴う埋蔵文化財（菊間遺跡群）調査委託（本調査、整理・報告） | 菊間遺跡群       | 民間 | 6,738,900 | 平成14年度 | 4,491,900  |
|    |                                            |             |    |           | 平成15年度 | 2,247,000  |
| 15 | コンビニエンスストア建設に伴う埋蔵文化財調査委託（本調査、整理・報告）        | 草刈尾梨遺跡      | 民間 | 4,293,686 | 平成15年度 | 2,259,487  |
|    |                                            |             |    |           | 平成16年度 | 2,034,199  |

## (5) 研究事業

### ① 全国埋蔵文化財法人連絡協議会関係

ア. 総 会 平成15年 6 月12・13日（大阪府）

イ. 研修会 平成15年10月23・24日（東京都）

ウ. 関東ブロック法人連絡協議会

平成15年 6 月20日（千葉県）

平成15年11月27・28日（神奈川県）

エ. コンピューター等研究委員会

平成15年 6 月16日、平成15年10月31日、平成16年 2 月20日（東京都）

### ② 千葉県文化財法人連絡協議会関係

ア. 総 会 平成15年 6 月30（千葉市中央区）

イ. 部 会 事務部会 2 回、技術部会 5 回

ウ. 研修会 平成15年11月14日（千葉県立中央博物館）

### ③ 奈良文化財研究所埋蔵文化財発掘技術者研修

科学分析調査課程 平成15年 9 月17日～ 9 月19日

## (6) 普及事業

### ① 調査報告書の刊行

『山倉古墳群』

『菊間遺跡群（袖ヶ台地区）』

『片又木遺跡Ⅲ』

『山田橋大山台遺跡』

『辺田古墳群・御林跡遺跡』

### ② 千葉県文化財法人連絡協議会遺跡調査研究発表会

平成16年 1 月18日 千葉市文化センター

「市原市山倉古墳群」発表

③ 市原市遺跡発表会

平成15年8月24日 サンプラザ市原

- ・姉崎山新遺跡
- ・西野遺跡
- ・山田橋稲荷台遺跡
- ・市原台地の古代道と関連遺跡

特別講演 「房総の古代の神々と祭祀・儀礼」

千葉県立安房博物館 笹生 衛

④ 千葉県文化財法人連絡協議会等主催 出土遺物巡回展

平成15年6月14日～平成16年3月10日 浦安市郷土博物館等

「市原市坊作遺跡」展示

⑤ 冊子 『発掘ってなあに（縄文土器篇別冊）』の刊行

⑥ 『市原市文化財センター年報（平成13・14年度）』の刊行

⑦ 報告書等の頒布

⑧ その他

- ・ホームページ（webサイト）開設準備
- ・遺跡管理システムの整備

(7) 平成15年度決算報告

平成15年4月1日から平成16年3月31日まで

収入の部

(単位：円)

| 科 目      | 予 算 額       | 決 算 額       | 差 異    | 備 考 |
|----------|-------------|-------------|--------|-----|
| 基本財産運用収入 | 1,000       | 1,002       | △2     |     |
| 事業収入     | 218,766,000 | 218,770,318 | △4,318 |     |
| 雑収入      | 3,000       | 3,025       | △25    |     |
| 当期収入合計   | 218,770,000 | 218,774,345 | △4,345 |     |
| 前期繰越収支差額 | 32,339,000  | 32,339,958  | △958   |     |
| 収入合計     | 251,109,000 | 251,114,303 | △5,303 |     |

支出の部

| 科 目      | 予 算 額       | 決 算 額       | 差 異        | 備 考 |
|----------|-------------|-------------|------------|-----|
| 受託事業費    | 191,040,000 | 190,687,701 | 352,299    |     |
| 研究普及事業費  | 5,711,000   | 5,687,837   | 23,163     |     |
| 一般管理費    | 12,913,000  | 12,531,501  | 381,499    |     |
| 消費税支出    | 6,779,000   | 6,668,800   | 110,200    |     |
| 固定資産取得支出 | 350,000     | 317,415     | 32,585     |     |
| 特定預金支出   | 2,451,000   | 2,451,000   | 0          |     |
| 予備費      | 100,000     | 0           | 100,000    |     |
| 当期支出合計   | 219,344,000 | 218,344,254 | 999,746    |     |
| 当期収支差額   | △574,000    | 430,091     | △1,004,091 |     |
| 次期繰越収支差額 | 31,765,000  | 32,770,049  | △1,005,049 |     |

### Ⅲ 調査概要

平成15年度は、公共・民間合わせて確認調査2、本調査4、確認調査・整理・報告2、本調査・整理2、整理・報告4、整理1の計15事業を、平成16年度は、確認調査1、本調査1、確認・本調査・整理・報告3、本調査・整理・報告1、整理・報告2、整理4の計12事業を実施した。以下に主な調査遺跡の時代毎の概要を記す。

#### 縄文時代

平成16年度の市原条里制遺跡蛇崎八石地区の調査では、低地に立地する貝塚が検出された。貝層の時期は縄文中期中葉であり、同時期の台地上の貝塚と比較する上で貴重なサンプルを得ることができた。貝層中からは、貝類・微小貝類、微量ながら哺乳類・魚類遺体、さらに植物遺体多数が検出されている。

#### 弥生時代

平成15年度の潤井戸西山遺跡C地点の調査では、弥生時代の環濠2条が検出され、これまでの当該遺跡の調査成果とあわせて、弥生中期の環濠集落の規模が推定可能となった。

平成16年度の能満城跡遺跡の調査では、弥生後期の住居跡が2軒検出された。

#### 古墳時代

平成15年度の姉崎山新遺跡の調査では、標高6～7mの砂丘帯上に8基の円墳が検出された。いずれも墳丘は残っていないが、残存する周溝によりその規模などが推定でき、最大のものでは外径30mほどあることがわかった。周溝内から検出された土器はいずれも和泉式のものである。周溝内から円筒埴輪が出土したものがあつたこと、さらに、墳丘下から皿状の遺構が検出され、内部からは高杯・埴などの土器が出土しており、古墳に伴う祭祀遺構の可能性があると注目される。また、竪穴住居跡とみられる遺構も多数検出されている。時期はいずれも和泉式のものである。姉崎二子塚古墳と同一の砂丘上に、同一時期の円墳が連綿と築かれ、さらに同時期の集落も隣接して営まれていることが明かとなったことは特筆に値する。

平成15年度の東関山古墳の調査は、個人住宅建設に先立つ極めて限定された範囲の調査であったが、古墳周溝の一部が検出され、これまでの古墳周辺部分の調査成果と合わせることによって、二重周溝の可能性のある当該古墳の形態が明かとなった。

平成16年度の能満城跡遺跡の調査では、古墳時代前期の住居跡3軒、後期の住居跡6軒が検出された。

#### 奈良・平安時代

平成15年度の西野遺跡群D地点の調査では、掘立柱建物跡・溝・土坑などが検出された。遺跡周辺は、「海上郡衙」推定地と考えられている地域であり、平成9年より海上地区のほ場整備に先立って、数カ所の遺跡が調査され続けてきた。この調査も本年度で終了し、引き続き本格的な整理作業が開始された。いずれの調査も、面的な広域調査ではなかったものの、部分的に遺構群の密集する箇所があるなど注目される発見があつた。これらをつなぎ合わせることで、ようやくその全貌が明かにされることになる。

平成15年度の市原条里制遺跡の調査では、平安期の溝1条と覆土中より加工板片を検出した。

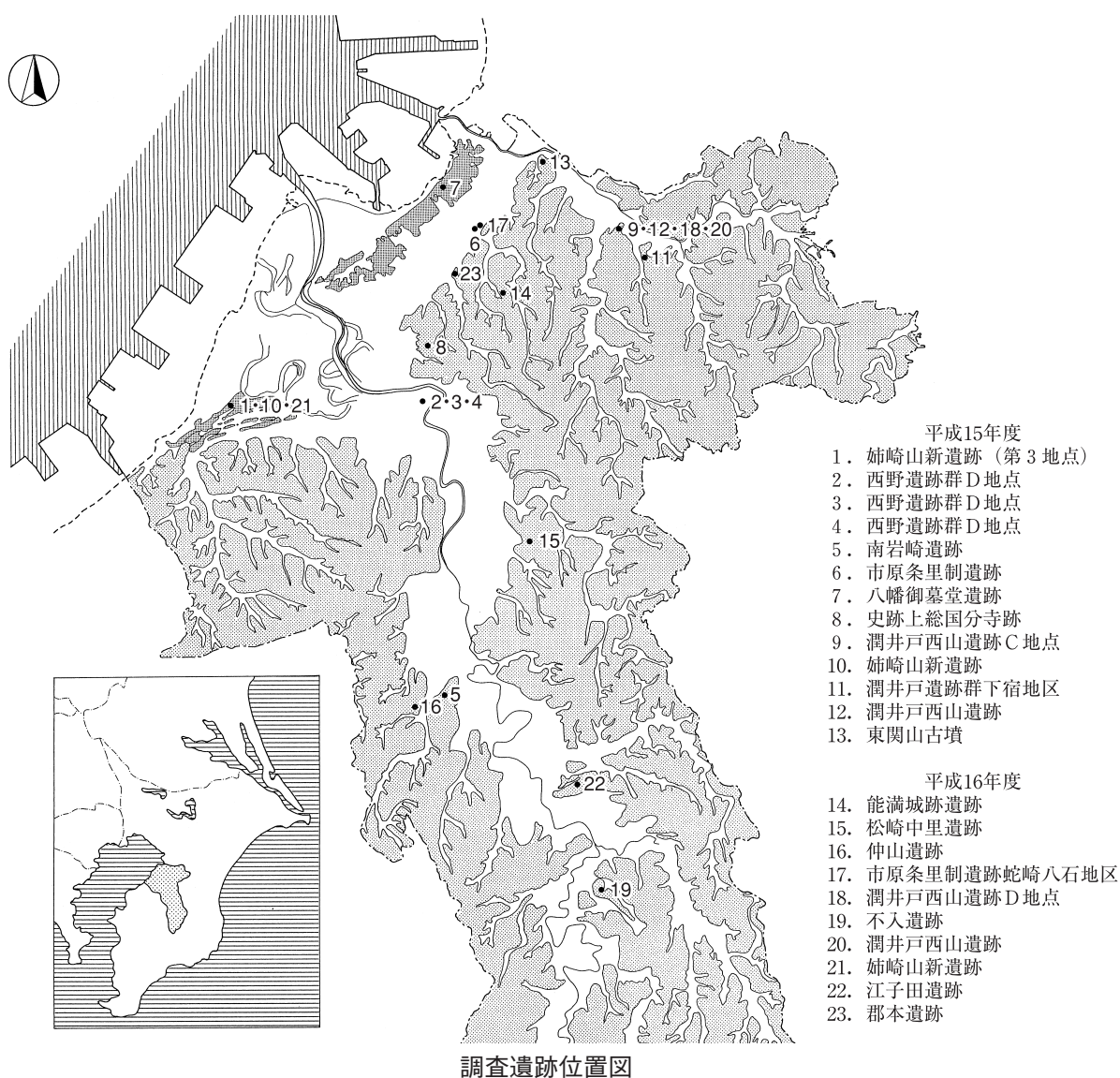
平成15年度の国分寺庫裡院建替えに伴う史跡上総国分寺跡の確認調査では、住居跡2軒と瓦を大量に投棄した遺構などが検出されている。

#### 中世

平成15年度の姉崎山新遺跡の調査では、中近世の溝状遺構が14条検出された。一部に硬化面がみられるものがあり、生活道路や耕作に伴うものとみられる。覆土中からは陶磁器片が含まれていた。

平成15年度の西野遺跡群D地点の調査では、溝・井戸状遺構などが検出されており、溝内からは漆を塗布した布状の遺物が出土するなど貴重な発見があった。

平成16年度の能満城跡の調査では、方形溝区画とその内側に掘立柱建物群が発見され、その主軸方向と棟方向が同一であることから、一体の屋敷とみられている。このほか、堅穴状遺構・方形土坑などが検出されている。



## 1. 姉崎山新遺跡（第3地点）<sup>あねさきさんしん</sup>

事業名 八幡椎津線（姉崎）建設工事に伴う埋蔵文化財調査業務委託

所在地 市原市姉崎1575-15番地先

調査期間 平成15年7月7日～平成16年1月30日

調査面積 3,280㎡（本調査）

調査概要 平成13年度確認調査し、中央の本調査になった部分が当調査区となる<sup>(1)</sup>。姉崎山新遺跡第3地点平成14年度本調査区の建設路線上、南西方向隣が本調査区である<sup>(2)</sup>。15年度は砂丘帯中央部が調査区となっている。調査区西側は、千葉県指定史跡姉崎二子塚古墳から東に約100mの地点となっている<sup>(3)</sup>。砂丘帯は標高7mから6mあり、陸側の後背低湿地は、標高5m前後となっている。地山は全層砂層になっており、表層地山は褐色から灰褐色、灰緑色を呈している。中世以降の遺構覆土は灰色を呈し、古墳時代以降の遺構覆土は黒色を呈してよく締まっており、地山より堅い状態である。砂丘帯上部は、水はけは非常によいが地下水位が高く、掘削部分は常に冠水状態となり、すべての調査区において排水を行った。調査検出された遺構は、中近世の溝状遺構が14条あり、一部に硬化面を検出したものは、道路の可能性がある。溝覆土には中近世の陶器片が混じり、現道と並行するものが多いため、耕作や、生活道に伴うものが多いと考えられる。調査区北側隣接地には、姉崎の妙経寺真如坊及び墓地があり、江戸時代には、姉崎宿の東側外縁であったと思われる。

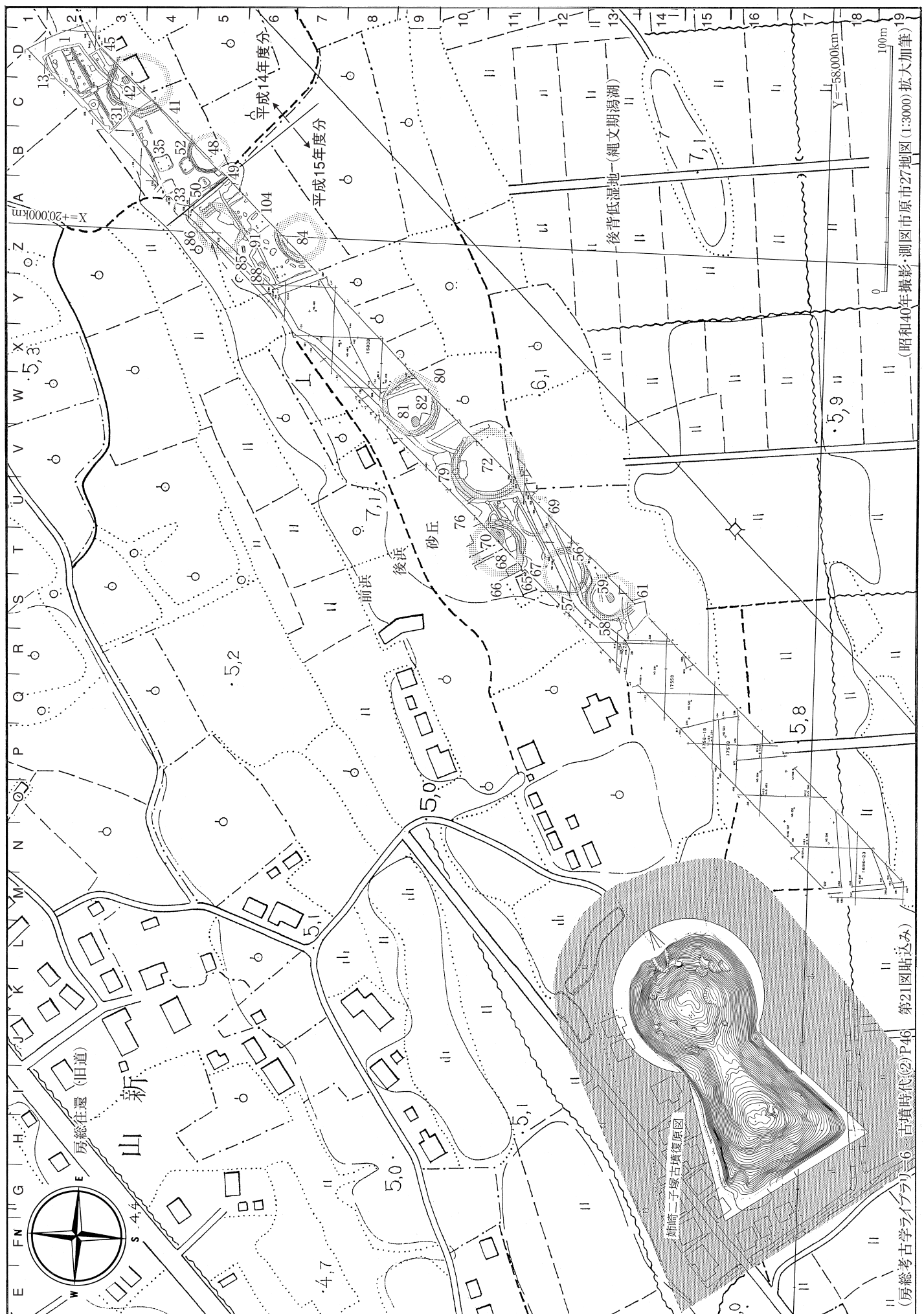
今回調査された古墳は8基あり、平成14年度調査分2基を加えて10基となり、平成16年度市内遺跡調査隣接部1基を加えて11基となった。網点部分周溝の古墳は全て円墳と推定され、墳丘は残っていない。調査中最大の72号は、内径23m、周溝外径30m程あり、周溝内からは、古墳時代中期の土器片が流れ込みの状態で検出された。その他の古墳周溝覆土も和泉式土師器の検出があり、埴などは、80、86号では完形で出土している。69号墳には浅い周溝中より、ずん胴形の円筒埴輪の基部1個体分が出土しており、14年度調査の48号墳出土黒斑のある埴輪と類似し、関連が興味深い。また注目されるのは、61号墳に59号、66号墳に70号、80号墳に81号、41号墳に42号のように、墳丘下に堅穴状遺構（斜線部分）が対になる状況である。それらは、高杯・埴など古墳時代中期の遺物が検出される皿状の遺構である。古墳に伴う、祭祀遺構の可能性がある。85号は土坑墓と考えられ勾玉が1点出土している。88号は木棺直葬墓と考えられ、鉄鏃が1点出土している。

57、58、65、67、68、76、79、82、91、104号は、地床炉が検出できないが、平坦な床・遺物の出土状態から、堅穴住居跡と考えられる。古墳周溝と重複している住居跡は、いずれも古墳が新しい。66号墳と68号住居跡複合部は、須恵器片がまとまって出土しているが整理作業前で詳細は不明である。104号住居跡は調査区範囲内では、最大で遺物量も非常に多い。住居跡出土の遺物はいずれも古墳時代中期の和泉式といわれるもので、平成14年度調査と同様である。古墳周溝内出土遺物と同時期集落遺跡となるが、古墳の主体部は失われており、古墳時代の時期は不明である。（近藤 敏）

(1) 近藤 敏「6. 姉崎山新遺跡（第3地点）」『市原市文化財センター年報平成13年度』2004

(2) 近藤 敏「30. 姉崎山新遺跡（第3地点）」『市原市文化財センター年報平成14年度』2004

(3) 白井久美子「205 姉崎古墳群」『千葉県の歴史 資料編考古2（弥生・古墳時代）』千葉県2003



姉崎山新遺跡第3地点本調査区概要図 (1:2,000)

## 2. <sup>にしの</sup>西野遺跡群D地点

**事業名** 草刈西広線（権現堂）建設工事に伴う埋蔵文化財調査

**所在地** 市原市権現堂362-1地先

**調査期間** 平成15年10月16日～平成15年10月20日

**調査面積** 117㎡（本調査）

**調査概要** 遺跡は、養老川中流域左岸を北に望む標高9～10mの微高地上に位置する。遺跡周辺は、かねてより、「海上郡衙」推定地として周知されている地域である。

調査の結果、奈良・平安時代と考えられる溝状遺構が検出された。

## 3. <sup>にしの</sup>西野遺跡群D地点

**事業名** 海上地区遺跡発掘調査事業（国庫補助分）

**所在地** 市原市西野字十二天146ほか

**調査期間** 平成15年11月12日～平成15年12月3日

**調査面積** 685㎡（本調査）

**調査概要** 遺跡は、養老川中流域左岸を北に望む標高9～10m前後の微高地上に位置する。遺跡周辺は、かねてより、「海上郡衙」推定地として考えられている地域であり、これまでに数カ所で調査が行われてきた。

調査の結果、奈良・平安時代の掘立柱建物跡・土坑などが検出されている。

## 4. <sup>にしの</sup>西野遺跡群D地点

**事業名** ほ場整備事業（県営担い手）海上地区埋蔵文化財調査

**所在地** 市原市西野字十二天115-1ほか

**調査期間** 平成15年8月25日～平成16年1月15日

**調査面積** 5,265㎡（本調査）

**調査概要** 遺跡は、養老川中流域左岸を望む標高8～10m前後の微高地上に位置する。遺跡周辺は、かねてより、「海上郡衙」推定地として周知されている地域である。

調査の結果、古墳時代終末期の竪穴住居跡1軒のほか、奈良・平安時代の掘立柱建物跡や、溝・井戸状遺構、及び土坑などを検出した。また、鎌倉期と考えられる溝・井戸状遺構を検出しており、溝内から漆を塗布した布状の遺物が出土している。

なお、上記3遺跡は、来年度に報告書が刊行されるので、参照されたい。（小川 浩一）

## みなみいわさき 5. 南岩崎遺跡

事業名 市道13号線（南岩崎・西国吉）埋蔵文化財調査（確認調査）

所在地 市原市西国吉1631番2から1652番2

調査期間 平成15年9月1日～9月11日

調査面積 2,500㎡のうち250㎡（確認調査）

調査概要 遺跡は養老川左岸の標高約35mの低位段丘面にある。市道13号線の建設に先行する調査は平成13年度以降継続して実施されてきた。これまでの調査で、弥生時代中期から後期にかけての集落、古墳時代中期の集落、6世紀代の円墳、中世の建物跡などを検出している。

今回の調査は遺跡範囲の東端にあたる、北東向きの斜面地であった。調査は、斜面に直交することを基本に9本のトレンチを設定しておこなった。もともと立川ロームのみを載せる段丘面であり、また斜面であることによる土砂の流出も相当であったと思え、ロームの堆積は薄く、斜面の下方では遺構の確認面は典型的なロームではなく、灰白色の粘質の強い土であった。

調査対象地がほとんど斜面であること、遺跡範囲の外縁にあたることなどから、今回の調査では良好な遺構・遺物の検出にはいたらなかった。遺物は、わずかに縄文早期と思われる土器が数片出土したのみで、これも南側の平坦部からの流れ込みと判断した。また、数基の土坑が確認されたが、いずれも近世以降あるいは時期不詳であり、確認調査のみで調査は収束した。

なお、斜面に平行するように地山がずれている箇所が部分的にみられ、地滑り地形の可能性がある。

（高橋康男）



遺跡の位置と周辺の地形（1/15,000）

## 6. 市原条里制遺跡<sup>いちばらじょうりせい</sup>

事業名 若宮都市下水路築造工事に伴う埋蔵文化財調査

所在地 市原市八幡281-1～267-1番地先、八幡266-2～266-3番地先

調査期間 平成15年4月16日～平成15年6月6日

調査面積 845㎡（本調査）

調査概要 遺跡は、東京湾を西に望む標高6m前後の海岸平野東端部に位置する。本地点の西側は、東関東自動車道館山線が縦貫しており、その建設に先立つ調査が千葉県文化財センターによって行われており、9世紀を中心とする条里区画水田に伴う畦畔や、弥生時代と考えられる小区画水田などが検出されている。遺物としては、当該期の土器片や、田下駄・柄穴鍬などの木製品が出土している。

調査の結果、A区において平安時代、B区において中世と考えられる溝状遺構を各1条検出した。遺物は、平安期と考えられる灰色粘土層において、加工板片等が出土した。（小川浩一）



## 7. やわた み はかどう 八幡御墓堂遺跡

事業名 八幡宿駅東口土地区画整理事業に伴う埋蔵文化財調査

所在地 市原市八幡宿802番地1ほか

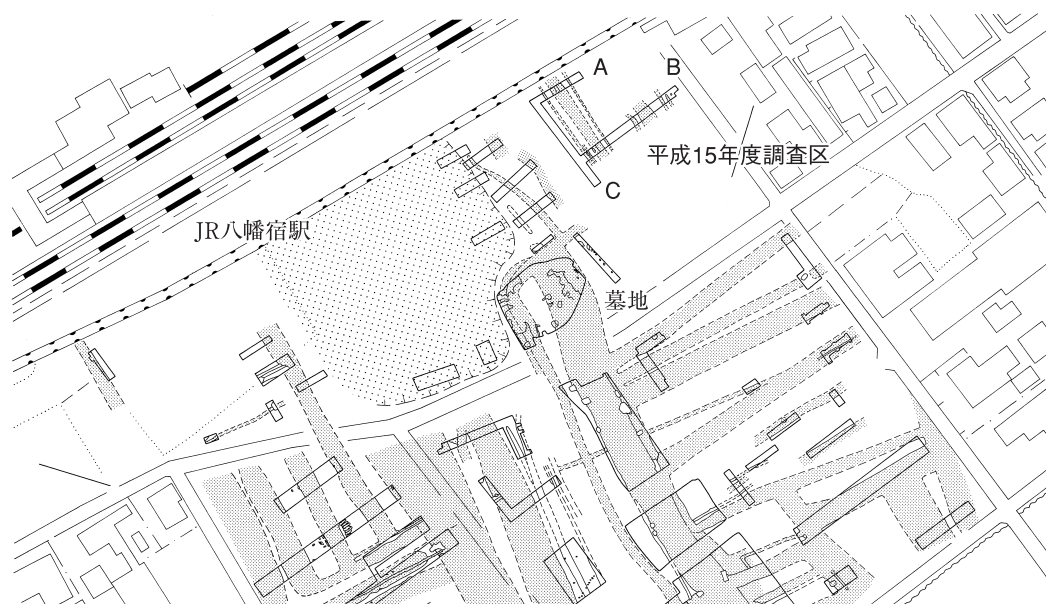
調査期間 平成15年11月4日～平成15年11月18日

調査面積 1,815.81㎡のうち181.58㎡（確認調査）

調査概要 遺跡は平成8年度より断続的に発掘調査が行われている。これまでに、中世以降の道路跡・溝跡が多数検出され、中世陶器類・下総型の人物埴輪破片・管状土錘などが出土している。また、御墓堂墓地地点の調査では、中世戦国期の溝と土墳墓が検出されており、この墓地の成立が中世期に遡ることが確認されている。

今回の確認調査は墓地北側の地点が対象である。JR八幡宿駅に向かってFの字形にトレンチを設定し、駅側の横辺をA区、台地側の長い横辺をB区、縦辺をC区とした。遺構検出面は標高1.8mの砂層で、標高2.1mにはほぼ水平に水田の貝肥が認められた。また、地山砂層をさらに掘削すると、約50cmでアサリ主体の自然貝層に達した。調査区内は常に湧水しており、A区とB区北東部で顕著だった。A区では、南東から北西に向かう溝を4条検出した。いずれも出土遺物が皆無で、開削時期を確定することは困難であるが、覆土が貝肥のある土層にバックされている事実から、近世以前の所産である可能性が高い。B区では、9条の溝とピット・土坑を検出した。このうち幅の最も広い溝からは、陶器片と共に、牛か馬の四肢骨片が出土している。南西側の4条の溝はいずれもA区で検出した溝と連絡する可能性が高いものである。B区は中間地点に最高点があり、南西・北東の両側に向かって傾斜する。海岸線に平行する方向の溝と道路状遺構の検出を目論んで設定したC区では、遺構は検出できなかった。ただ、貝肥層が北西－南東方向にも広がることを土層断面で確認できた。

遺構・遺物相からは調査区内が過去に居住域ではなかったことがわかる。しかし、付近での埴輪や陶磁器類の出土は、近くの微高地に密度の高い遺構群が存在する可能性を示唆している。（小橋健司）



遺跡位置図 (1/2,000)

## 8. 史跡上総国分寺跡

事業名 国分寺庫裏院建替えに伴う史跡上総国分寺跡発掘調査（確認調査）

所在地 市原市惣社1丁目7番23の一部

調査期間 平成15年4月14日～4月28日

調査面積 367㎡（確認調査）

調査概要 今回調査したのは、上総国分僧寺の講堂跡の西側約30mの地点である。現在の医王山国分寺の庫裏の建替えにあたり、当該部分に上総国分僧寺の主要な建物跡が存在するかどうかを確認するために、史跡整備にかかる国庫補助事業として実施した。

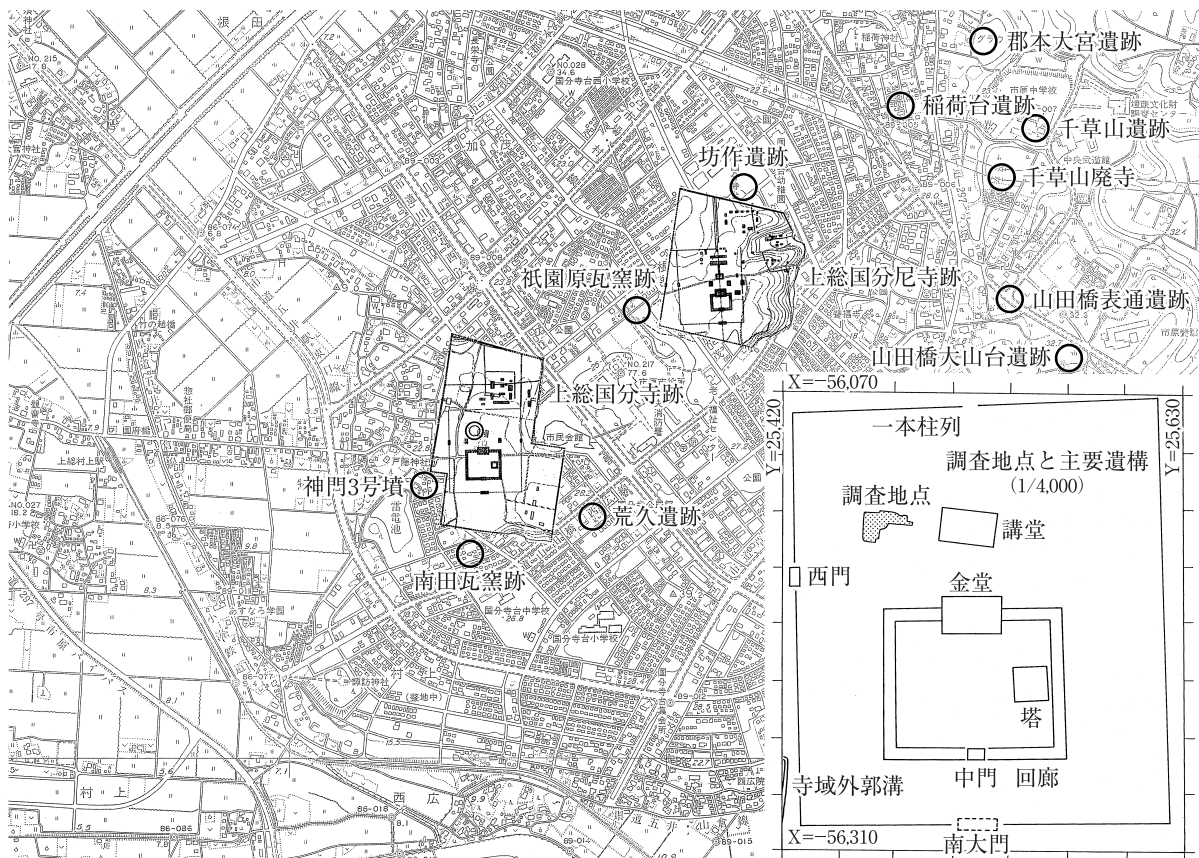
調査の結果、重要な建物の検出には至らなかった。このことは、僧房が北面する可能性が高くなったことを示している。上総国分僧寺の主要な伽藍は昭和40年代の調査以降、西門の位置が確定した以外には大きな進展はなく、多くの解明すべき課題がある。

主要な建物跡の検出にはいたらなかったが、住居跡2軒や瓦の大量投棄された遺構等を検出した。これら遺構の性格については国分寺全体の動向の中で位置づけるべきであろう。将来的な課題である。

なお、周辺一帯は弥生時代後期から古墳時代前期にかけての集落の存在でも注目されている部分でもあったが、今回の調査では当該期の遺構・遺物は検出されなかった。

詳細については、調査報告書を参照されたい。

報告書 高橋康男2004『史跡上総国分寺跡発掘調査報告書－国分寺庫裏建替えに伴う史跡上総国分寺跡発掘調査報告－』市原市教育委員会（高橋康男）



上総国分寺跡と周辺の主要遺跡（1/20,000）

## 9. う り い ど に し や ま 潤井戸西山遺跡C地点

事業名 コンビニエンスストア建設に伴う埋蔵文化財調査

所在地 市原市草刈194-1の一部、195-1の一部

調査期間 平成15年9月17日～10月7日

調査面積 354㎡（本調査）

調査概要 遺跡は、市北部を流れる村田川左岸の、標高約14mの河岸段丘上にある。これまでに隣接地（A地点・B地点）で二度の発掘調査が行われており、弥生時代中期の環濠集落や、古墳時代前期から後期にかけての集落、奈良時代の集落などの存在が明らかになっている。

今回の調査範囲は、ほぼ全域にわたって壊滅的な攪乱を受けていた。そのような中であって、弥生時代の環濠2条、古墳時代中期の住居跡1軒などを検出した。これまでの調査成果とあわせて、環濠全体の規模が推定可能となり、また古墳時代中期の遺構の広がりが明らかになった。

調査の成果については、既刊の調査報告書を参照されたい。また、東南の隣接部（潤井戸西山遺跡D地点）においても平成16年度に調査が実施され、本年報別項で概要が示されており、既に報告書も刊行されているので、あわせて参照されたい。（高橋康男）

A地点 鈴木英啓 1986『潤井戸西山遺跡』（財市原市文化財センター 調査報告書第9集）

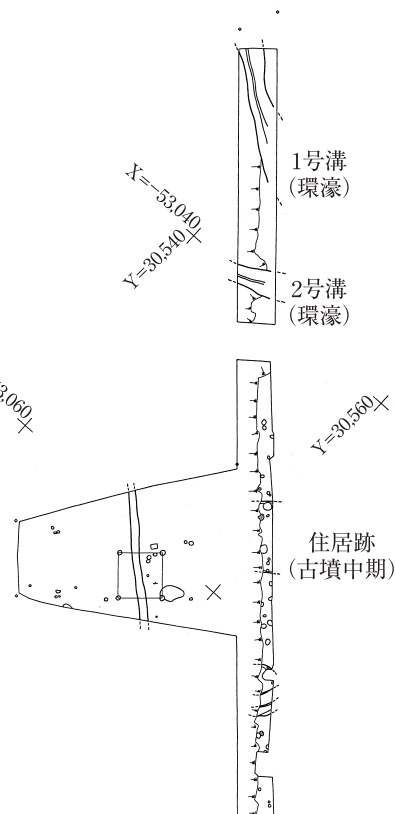
B地点 半田堅三 1992『草刈尾梨遺跡』（財市原市文化財センター 調査報告書第46集）

C地点 木對和紀 2003「潤井戸西山（草刈尾梨）遺跡」『平成15年度市原市内遺跡発掘調査報告』市原市教育委員会  
高橋康男 2004『市原市潤井戸西山遺跡C地点』（財市原市文化財センター 調査報告書第90集）

D地点 小川浩一 2005『市原市潤井戸西山遺跡D地点』（財市原市文化財センター 調査報告書第92集）



遺跡の位置とこれまでの調査地点（1/5,000）



C地点 全体図（1/600）

## 10. <sup>あねさきさんしん</sup>姉崎山新遺跡

事業名 市内遺跡発掘調査

所在地 市原市姉崎1,714-5

調査期間 平成15年4月14日～平成15年4月22日

調査面積 1,021㎡のうち102㎡（確認調査）

調査概要 調査地点は標高5～6m前後の沖積地で、姉崎棗塚遺跡と姉崎山新遺跡が接する地点の南側約100mの遺跡縁辺部に位置する。遺構として中世溝1条のほか近世の溝等を検出したが、調査区全域からの出土遺物は、平安時代の土師器片の出土が884点と最も多く、次いで同時期の須恵器片20点であり、中世遺物は瀬戸・美濃系の縁釉小皿ほかカワラケ等12点が出土したにすぎない。このほか近世遺物として、刃部を欠くが、十二支に関連すると思われる鼠の線刻が施された真鍮製の小柄1点、寛永通宝1点等が検出されている。

これまで周辺地域は、中世遺構が遺跡の主体と考えられていた。しかし、今回の出土遺物から見れば、少なくとも本調査区の周辺地域に、平安時代集落跡等の存在が予測される。

報告書 『平成15年度市原市内遺跡発掘調査報告』 2004 市原市教育委員会 （木對和紀）

小橋健司 「姉崎山新遺跡（第2地点）」『平成11年度市原市文化財センター年報』（財）市原市文化財センター 1999

小橋健司 「姉崎棗塚遺跡（2次）」『平成9年度市原市文化財センター年報』（財）市原市文化財センター 1997



姉崎山新遺跡調査地点（1：5,000）

## 11. 潤井戸遺跡群下宿地区

事業名 市内遺跡発掘調査

所在地 市原市潤井戸字下宿686-2、686-4

調査期間 平成15年5月12日～平成15年5月19日

調査面積 397.48㎡のうち40㎡（確認調査）

調査概要 調査地点は、全長35mの前方後円墳である宿後古墳の南に隣接した標高20m前後の台地上に位置する。調査範囲内に7箇所のトレンチを設定したが、遺構密度は低い。確実な遺構は宝永火山灰を含む層位の下に間層を挟んで掘り込まれた土坑1基のみで、これ以外は、比較的新しい時期の溝やピットが検出されたに過ぎない。遺物は縄文時代早期条痕文系土器と円筒埴輪片などが検出され、特に円筒埴輪片は隣接地点に存在する宿後古墳との関連性が考えられる。

報告書 『平成15年度市原市内遺跡発掘調査報告』 2004 市原市教育委員会

（木對和紀）



潤井戸遺跡群調査地点（1：5,000）

## 12. <sup>うるいどにしま</sup>潤井戸西山遺跡

**事業名** 市内遺跡発掘調査

**所在地** 市原市草刈194-1、195-1の一部

**調査期間** 平成15年7月2日～平成15年7月16日

**調査面積** 3,500㎡のうち350㎡（確認調査）

**調査概要** 調査地点は、昭和59年度調査地点の潤井戸西山遺跡の北西約100m、平成2年度調査の草刈尾梨遺跡からは北西約50m地点に存在し、標高14m前後の台地上に位置する。遺跡は調査直前の徹底した破壊活動によって壊滅的な状態であり、比較的掘り込みの深い遺構以外は既に消滅していた。しかし、奇跡的にも昭和59年度検出の弥生環濠に継続すると思われる同規模の断面V字形の溝が検出され、時期的にも弥生時代中期宮ノ台式期に比定される遺物を検出するなど、本遺跡の弥生環濠集落の全体像が概ね明らかとなった。安藤氏によれば、東京湾西岸地区の弥生環濠集落の規模は20,000㎡が標準とされている。潤井戸西山遺跡では、西側には拡張できる余裕があるものの、地形的な制約から東側方向への拡張はほぼ不可能であり、その形状は東西に狭く南北にやや長い楕円形状を呈するものと想定される。したがって、図上に示した想定上の環濠集落の規模は右のごとくとなり、その面積は、概ね標準値に近い19,400㎡に復元される。

なお、潤井戸西山遺跡内にはこの弥生時代の環濠集落跡の他に、東西70m・南北90m以上の範囲内に、四脚門・柵列・掘建柱建物群等の他に鍛冶工房を伴う古墳時代中期の豪族居館跡の存在が想定されている。しかし、豪族居館としての正確な規模や、掘立建柱建物群を主体とする主要建物群の構造等については未だ不明な点が多く、少なくとも今回の調査では、豪族居館に関連する遺構・遺物を検出することができなかった。豪族居館とされる遺構については、その時期を含めて今後の更なる調査と検証の累積が必要であろう。

**報告書** 『平成15年度市原市内遺跡発掘調査報告』 2004 市原市教育委員会 (木對和紀)

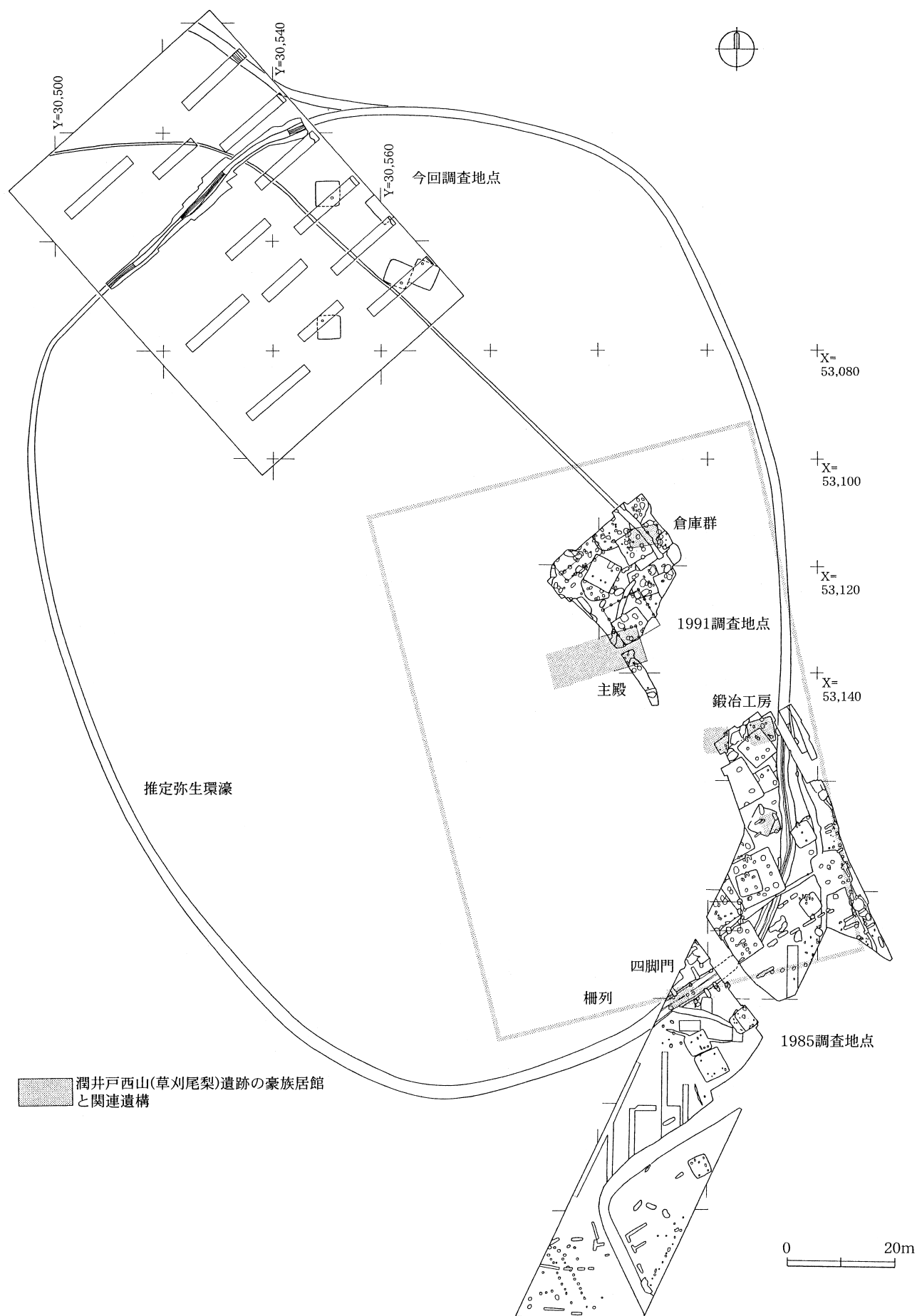
鈴木英啓 『潤井戸西山遺跡』(財)市原市文化財センター調査報告書第9集1986

半田堅三 『草刈尾梨遺跡』(財)市原市文化財センター調査報告書第46集 1992

安藤広道 「弥生時代集落群の地域単位とその構造－東京湾西岸地域における地域社会の一位相－」『考古学研究』第50巻第1号 考古学研究会2003

安部義平 「関東南部の豪族居館」「豪族居館と邸宅」『季刊考古学』第36号 雄山閣1991

大村 直 「古墳時代集落出土の鉄製品」『考古資料大観7 弥生・古墳時代 鉄・金銅製品』小学館2003



潤井戸西山遺跡環濠想定図 (1 : 1,000) ・遺構配置図

### 13. 東関山古墳<sup>とうかんやま</sup>

**事業名** 市内遺跡発掘調査

**所在地** 市原市菊間2,751-2

**調査期間** 平成15年11月19日～平成15年11月28日

**調査面積** 4,601㎡のうち60㎡（確認調査）

**調査概要** 菊間古墳群は村田川下流域南岸の標高21m前後の台地先端部を占め、姫宮古墳などの前方後円墳を主体とする東側の一群と、谷を挟んで径45m前後の菊間天神山古墳（円墳）を主体とする西側の一群と大きく2分されて存在する。今回周溝の一部を調査した東関山古墳は、この前方後円墳を主体とする東側の一群に存在し、大型古墳としては台地先端部から最も奥まった南側に位置する。

東関山古墳周辺の調査では、平成5年度に菊間深道遺跡A地点が調査された。かなり限定的な調査ではあったが、はじめて東関山古墳の周溝を捉え、その規模が幅10m前後であることが想定された。ついで平成6年度に・A地点に隣接する菊間深道遺跡B地点が調査された。東関山古墳の周溝本体は確認されなかったが、設定トレンチ外の限られた範囲に東関山古墳の周溝が巡ることが判明した。また同年度には千葉県重要古墳として墳丘測量調査が実施され、永沼氏によって全長80mの前方後円墳として復元されている。しかし、確実な周溝と断定できる範囲は、平成5年度の菊間深道遺跡A地点と極めて限定的であり、全長ならびに周溝形態の正確な復元に至るまでの資料に恵まれていなかったというのが実情であろう。

今回の調査は、この東関山古墳の括れ部付近の周溝検出が確実と想定される範囲が対象地あり、調査区に3箇所のトレンチを設定して実施した。トレンチ内での遺構重複の激しい箇所もあったが、結果として想定どおり、東関山古墳括れ部付近の周溝と、これに平行して走る溝や地下式墳などが検出されている。

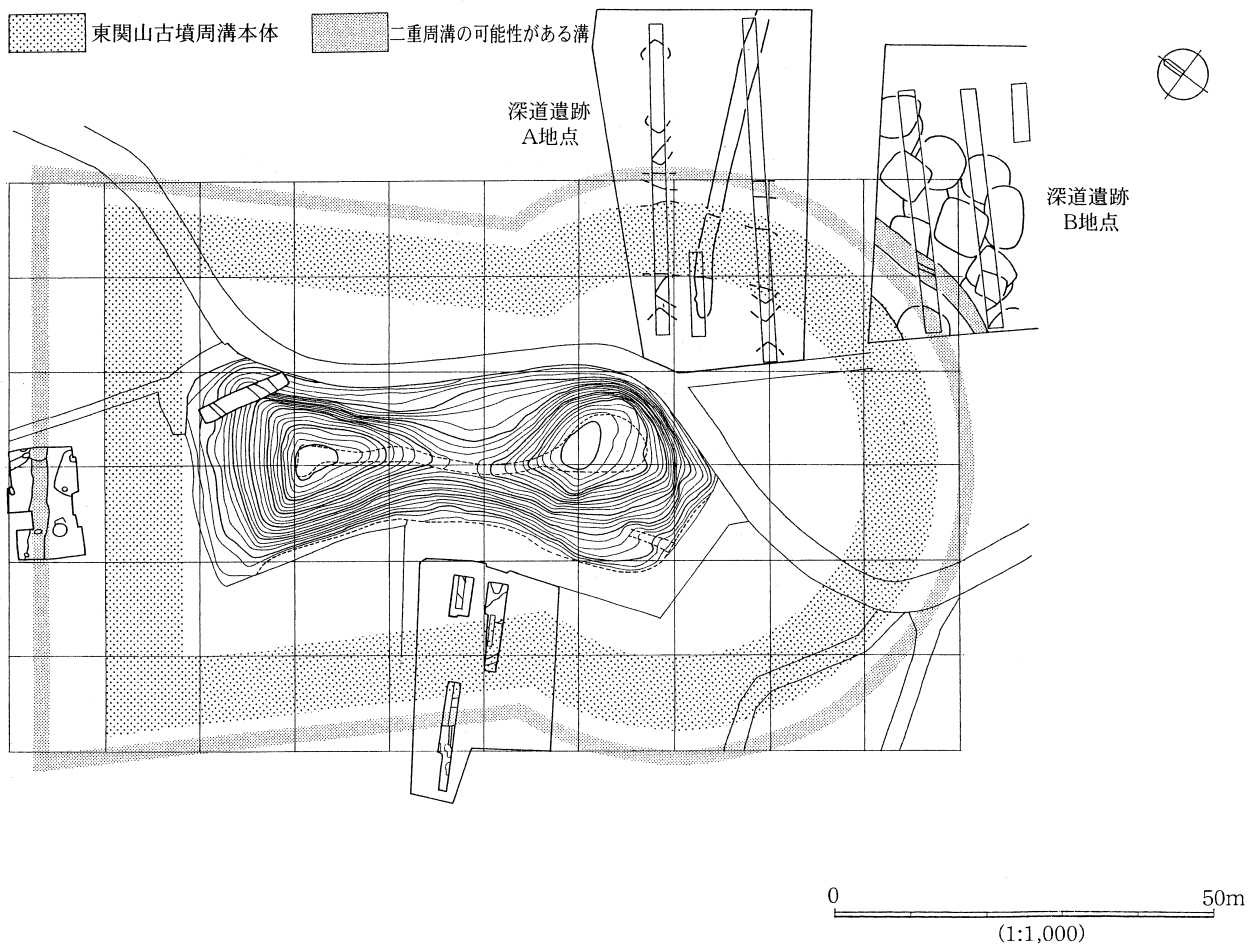
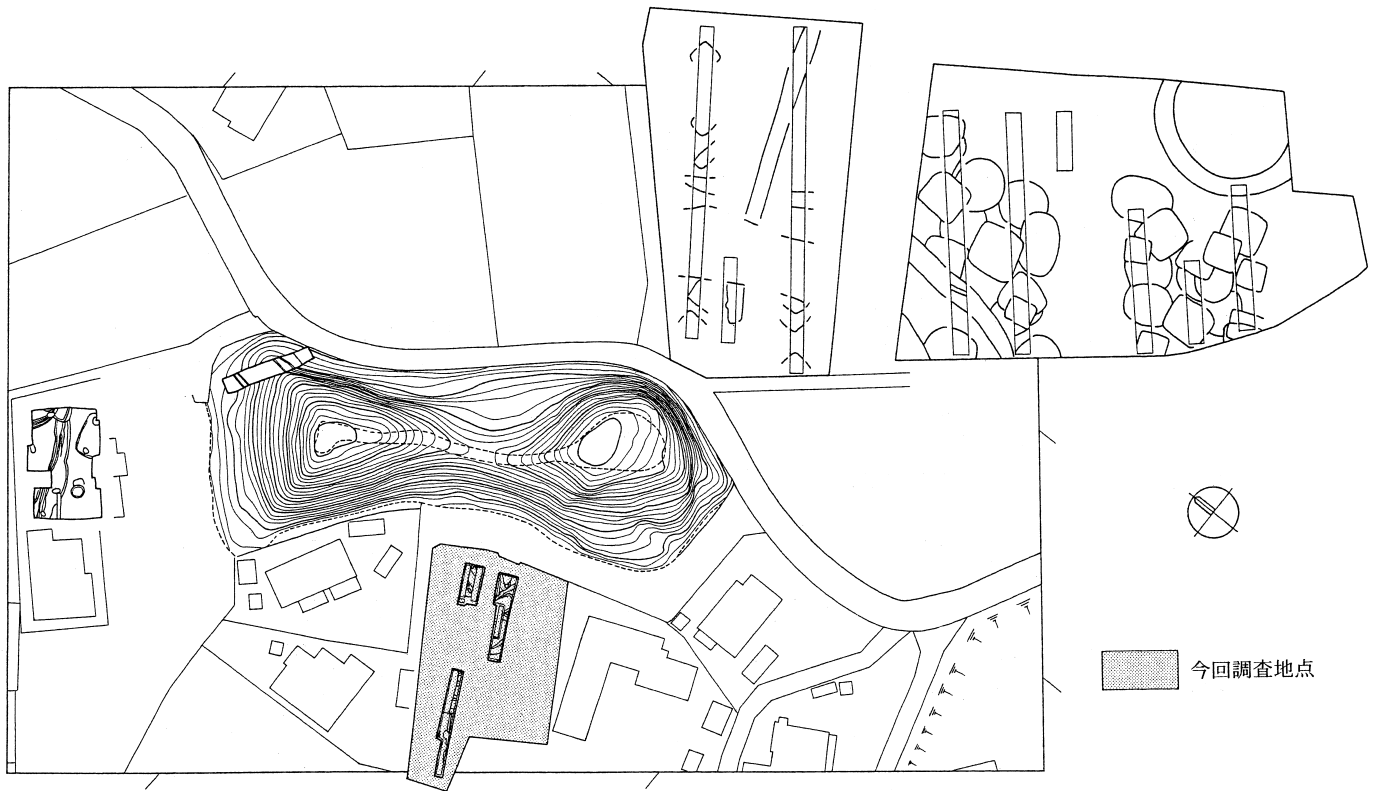
ところで、平成15年3月に実施された前方部前面の調査によって、東関山古墳の周溝本体が検出されなかったことで、逆に東関山古墳前方部の周溝範囲は、かなり限定的な範囲に絞り込まれることとなった。また、想定上の周溝本体とほぼ平行に走る溝も検出されており、菊間深道遺跡A・B地点と併せて東関山古墳の周溝を考える上で重要な要素を提起せしめている。これに今回の調査結果を加えると、周溝本体とこれに平行して走る溝が全ての調査区より検出されており、前方部前面と後円部前面のみ二重周溝の周溝間が広がる可能性があるが、東関山古墳の周溝は盾型周溝ではなく相似形の二重周溝である可能性がかなり高くなってきたといえよう。なお、今回の調査区内からは多くの遺物が検出されたが、東関山古墳本体の年代を決定付ける遺物は確定できなかった。

**報告書** 『平成15年度市原市内遺跡発掘調査報告』 2004 市原市教育委員会 (木對和紀)

高橋康男 「菊間深道遺跡」『市原市内遺跡発掘調査報告』市原市教育委員会1994

田所 真 「菊間深道遺跡B地点」『市原市内遺跡発掘調査報告』市原市教育委員会1995

永沼律朗 「市原市菊間古墳群」『千葉県重要古墳群測量調査報告書』千葉県教育委員会1995



東関山古墳調査地点と周溝復元図

のうまんじょうあと  
14. 能満城跡遺跡

**事業名** 市道241号線（能満・山木）埋蔵文化財調査（本調査）

**所在地** 市原市能満629番地

**調査期間** 平成16年5月20日～平成17年2月10日

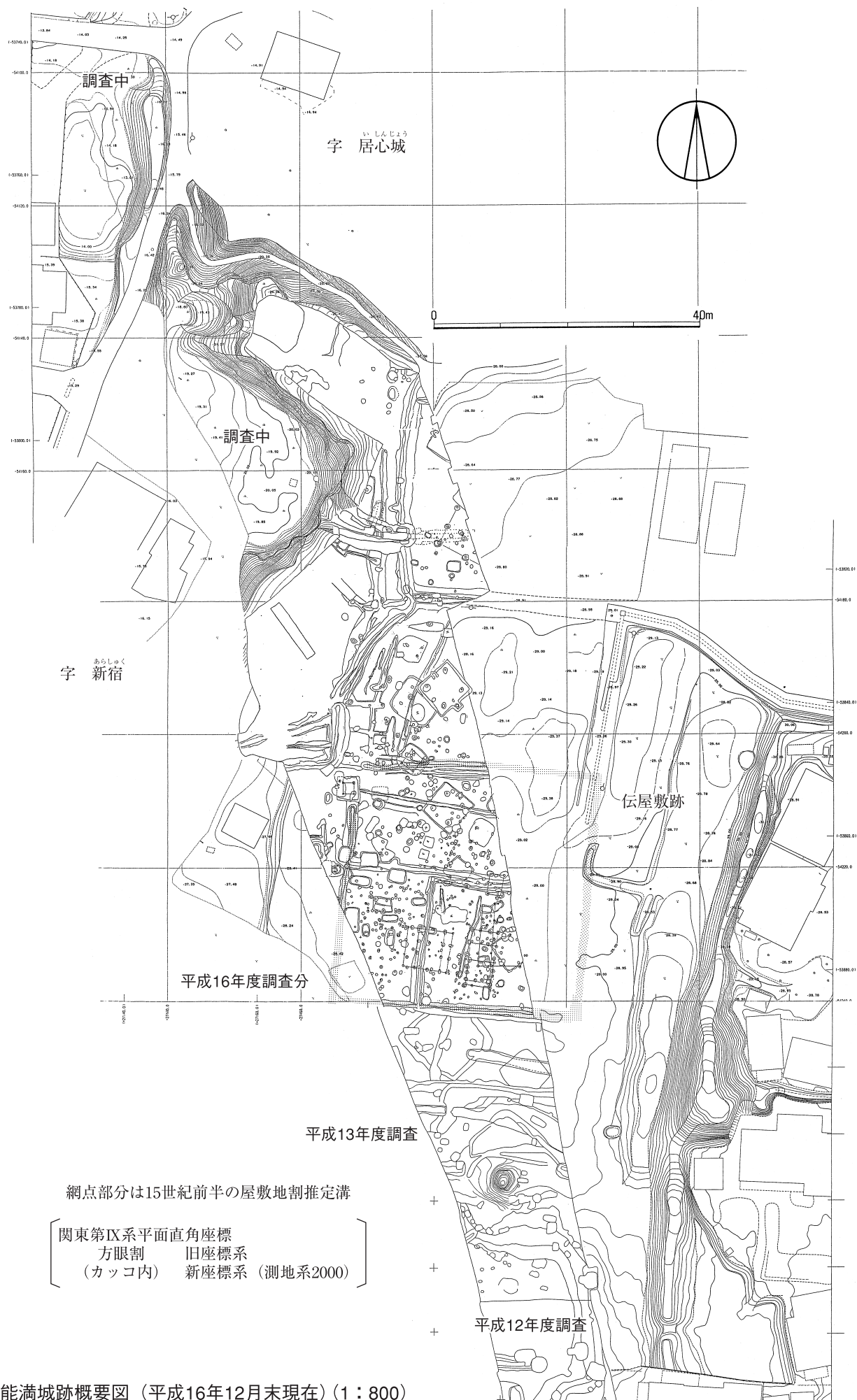
**調査面積** 3,756㎡（本調査）

**調査概要** 当調査は平成14年度確認調査の結果、全域本調査になった部分である。しかし字居心城地区境界部分の切通しについては、用地の関係で今回の調査対象から除外されている。能満城跡は平成11年度から調査をはじめ、調査区東隣字馬場ノ内地区に明瞭な掘割土塁等の地上遺構が存在するため、数度の調査時点において、周辺現況地形の空中写真測量を実施した。挿図の能満城跡概要図は平成14年度に空中写真測量を実施した成果を図化し、今年度調査した台地上検出遺構を加えたものである。前調査で確認された約南北2町、東西1町区画（仮称馬場ノ内館跡）の西側辺の保存状態が良い掘割と土塁は、概要図において把握ができ、明確な掘割部分には、非常に高い土塁が伴っていることがわかる。今年度は調査区南側の台地上部分を前半に調査し、後半に調査区北側の旧農家宅地面の斜面中段部分と、台地最北端縁辺部から開析谷までを調査している。概要図は台地上の調査成果までを図示しており、この紙面では北半分は調査途上である。台地上は標高27～28mあり、北西側は斜面となり標高25mまで緩斜面となっている。旧石器は調査区から数点採集されたため、トレンチを設定し第2黒色帯下部から1点石核を検出し、そのやや浮いた上面から黒曜石、チャート製のチップを検出した。縄文時代は早期土器片や石鏃を採集したが、明確な遺構は検出されなかった。弥生時代は後期の住居跡が主軸方向北西の2軒が検出され、14年度調査の方形周溝墓との関連が推測される。古墳時代前期は主軸方向北西の3軒が調査され、14年度調査の1軒と同主軸を有する。古墳時代後期住居跡は北西カマド位置の6軒が検出され、内1軒はカマド位置を北東に変更している。また別の1軒は西カマドとしている。14年度に同時期の住居跡を検出している。

中世遺構は一辺38mと推測される方形の溝区画（網点部分）が、検出され、その内側にある掘立柱建物群は、その区画溝の主軸方向を棟方向と同一にしているので一体の屋敷と考えられる。調査時には2間×3間の庇つき建物が2棟と、他に2間×3間と推測される1棟が検出された。またその他多数の柱穴に柱跡のアタリがあるものが多いので残り数棟構成されると思われる。方形区画溝以外に溝が数条掘削されているが、最初方形区画溝の掘削が15世紀前半にあり、その後溝の掘り返しがあって、区画内の掘立柱建物跡、それに伴う方形竪穴状遺構と方形状土坑に同時期の遺物が包含されている。その後その区画を分割する溝が掘削されているが、覆土上面の宝永火山灰の検出状況から16世紀以降の所産と考えられる。方形区画は南北辺、西辺が確認され、南辺は14年度調査成果を考慮すると南北間15mの空間を挟んで墓地と居住地区を分割している。中世遺物は瀬戸の縁釉皿や盤、常滑の鉄釉の鉢片が出土し、カワラケは少ない。その他に小片であるが青磁が2点ほど出土し、小型の黒色粘板岩製の硯が2点ほど出土している。

区画溝北側の中世遺構は散在するのみで、溝群は数度の掘り返しがある。旧道の赤道と同じルートになっており、覆土上部に江戸時代の遺物の廃棄が見られる。北側調査区は次回報告する。

（近藤 敏）



## 15. <sup>まつぎきなかざと</sup>松崎中里遺跡

**事業名** 市道5065号線（松崎）建設に伴う埋蔵文化財調査

**所在地** 市原市松崎44-5番地先

**調査期間** 平成16年9月10日～平成16年9月17日

**調査面積** 1,550㎡のうち155㎡（上層確認調査）、1,550㎡のうち16㎡（下層確認調査）

**調査概要** 当遺跡は、弥生・古墳時代の包蔵地として登録されており、発掘調査はこれが初めてである。遺跡は養老川中流域右岸に位置し、この付近の台地より一段低い低位段丘面上に立地する。道路建設予定地は畑地であって、土師器が比較的濃密に散布していた。

上層確認調査では、9か所のトレンチ調査により、全面に奈良・平安時代の集落が広がることが確認された。詳細な時期のわかる土器は多くないが、8世紀後半から9世紀に偏っており、5世紀後半の土器小片が混じる。なお、主要地方道市原茂原線沿いの部分については、事業者の希望によりトレンチを設定しなかったが、この部分についても上層遺構の存在が充分考えられる。

下層確認グリッドは4か所設定した。石器は出土しなかったが、土層の記録を行った。調査区中央付近ではⅦ層から風成層の形成が始まっているのに対して、東端付近では水成堆積とみられる粘質土中にⅥ層のATブロックが入っていた。いずれも、大きなATブロックが見られた。西側はローム層がきわめて薄く、以下はシルト層・砂層であった。古代の遺構も耕作面直下で床面を検出したものが多く、長期にわたって土が流失する傾向にあると考えられる。（西野雅人）

## 16. <sup>なかやま</sup>仲山遺跡

**事業名** 無線基地局（南岩崎）建設に伴う埋蔵文化財調査

**所在地** 市原市南岩崎686-9

**調査期間** 平成16年4月19日～平成16年4月23日

**調査面積** 339㎡のうち33㎡（確認調査）、64㎡（本調査）

**調査概要** 養老川が中流で戸田川と分かれる付近の低地に突き出た台地上に位置する。当遺跡は集落・包蔵地として、また「報恩寺古墳群」、中世の「南岩崎砦」としても登録されている。過去の調査で弥生後期の住居跡1軒、7世紀の方墳1基、中世溝・道路跡等を検出している。現状は、大半が報恩寺境内と市原中央霊園およびその周辺林となっており、弥生後期から古墳初頭の土器が比較的密に散布している。また、台地上を方形・長方形に区画する土手や溝が多数、地表面に現れている。調査区付近にも土手・溝が存在するが、砦跡に伴うものではなく、近世以降のものと考えられる。

今回の調査では、溝2条と木炭集中地点について本調査を実施したが、時期を特定するにはいたらなかった。周囲の遺物散布からみると、この地点は弥生・古墳時代の墓域を伴う集落が存在した可能性が高いが、その後中世以降の掘削・造成によって大半が失われたものと考えられる。なお、中世報恩寺や、城館等に関わる遺構は、現在の報恩寺境内から北側に存在した可能性が高い。

**報告書** 『市原市市原条里制遺跡（蛇崎八石地区）・仲山遺跡』 市原市文化財センター 2004

（西野雅人）

## 17. 市原条里制遺跡蛇崎八石地区

事業名 無線基地局建設に伴う埋蔵文化財調査

所在地 市原市菊間95-4・95-5

調査期間 平成16年4月6日～平成16年4月22日

調査面積 188㎡（上層本調査）

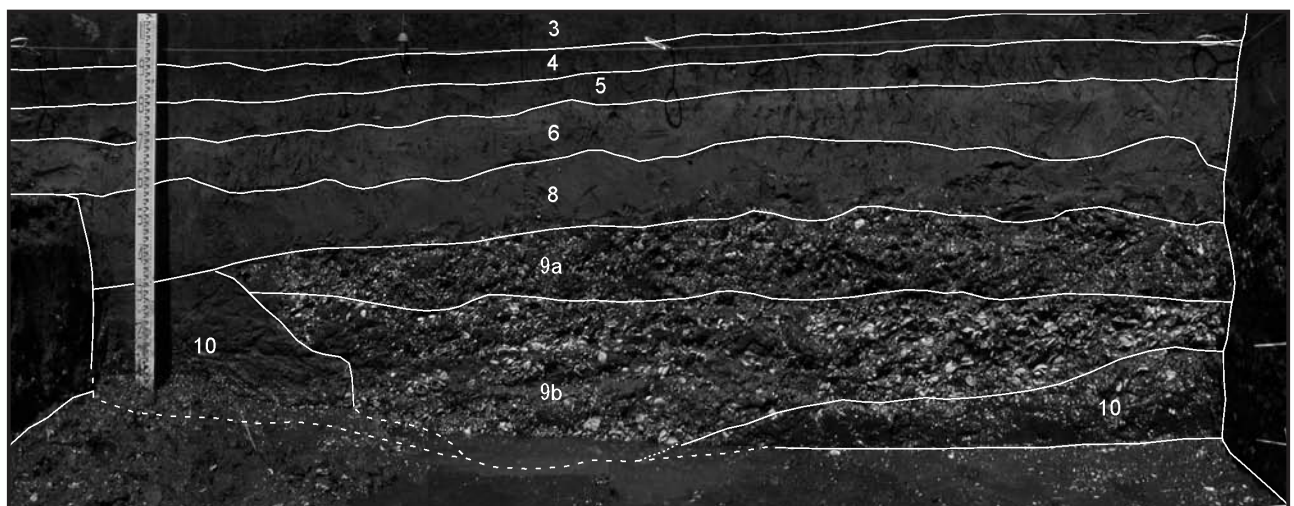
調査概要 調査地点は、新田川北側の支台北端に突き出した白船城跡の西側、海食崖の直下に位置する。標高は約6mである。市原条里制遺跡は、この海食崖に平行して広がる海岸平野のうち、八幡・五井の市街地を乗せた砂堤群の東側の後背湿地部分を広く括った遺跡群である。過去の調査では、縄文時代早期・中期の低地性貝塚、弥生時代から中世以降に至る水田遺構、奈良・平安時代の古代官道跡などが検出されている。

調査の最大の成果は、縄文中期中葉の貝層を検出したことにある。低地の貝層としては出土土器が多く、ほぼ時期を確定できた。中期中葉は、長期にわたる通年定住型の生産・居住様式が発達して大型貝塚が形成された注目すべき時期にあたる。低地型貝層は、集落から離れた漁場に隣接していた可能性が高く、当時の生業・居住様式を考える上できわめて興味深い存在である。貝サンプルの分析では、イボキサゴ・ハマグリが多い点で台地上の貝塚と共通点が認められたが、一方で、アシ原に多産するカワザンショウガイが多い点や、ハマグリがやや大きいなど台地上の貝塚との相違もみられる。哺乳類や魚類遺体はごく少量であった。

さらに、植物遺体を多数含んでいる点も貴重である。今回は分析鑑定が未了であるが、クルミやドングリ類が多く、植生と生業内容の復原にあたって貴重な資料となるであろう。一方、下部貝層と泥炭を含む層については、一部を掘り下げて存在を確認することが精一杯であった。周辺の並木地区や実信地区の状況をみると、早・前期を中心とした貝層と泥炭を含む層が何枚か互層している可能性が高い。貝層は自然貝層が主体とされているが、かなりの土器を含んでおり、なお検討が必要であろう。

報告書 『市原市市原条里制遺跡（蛇崎八石地区）・仲山遺跡』 市原市文化財センター 2004

（西野雅人）



上部貝層の断面

## 18. <sup>うるいどにしま</sup>潤井戸西山遺跡D地点

**事業名** 店舗建設に伴う埋蔵文化財調査

**所在地** 市原市草刈字尾梨194-1の一部

**調査期間** 平成16年6月22日～平成16年7月8日

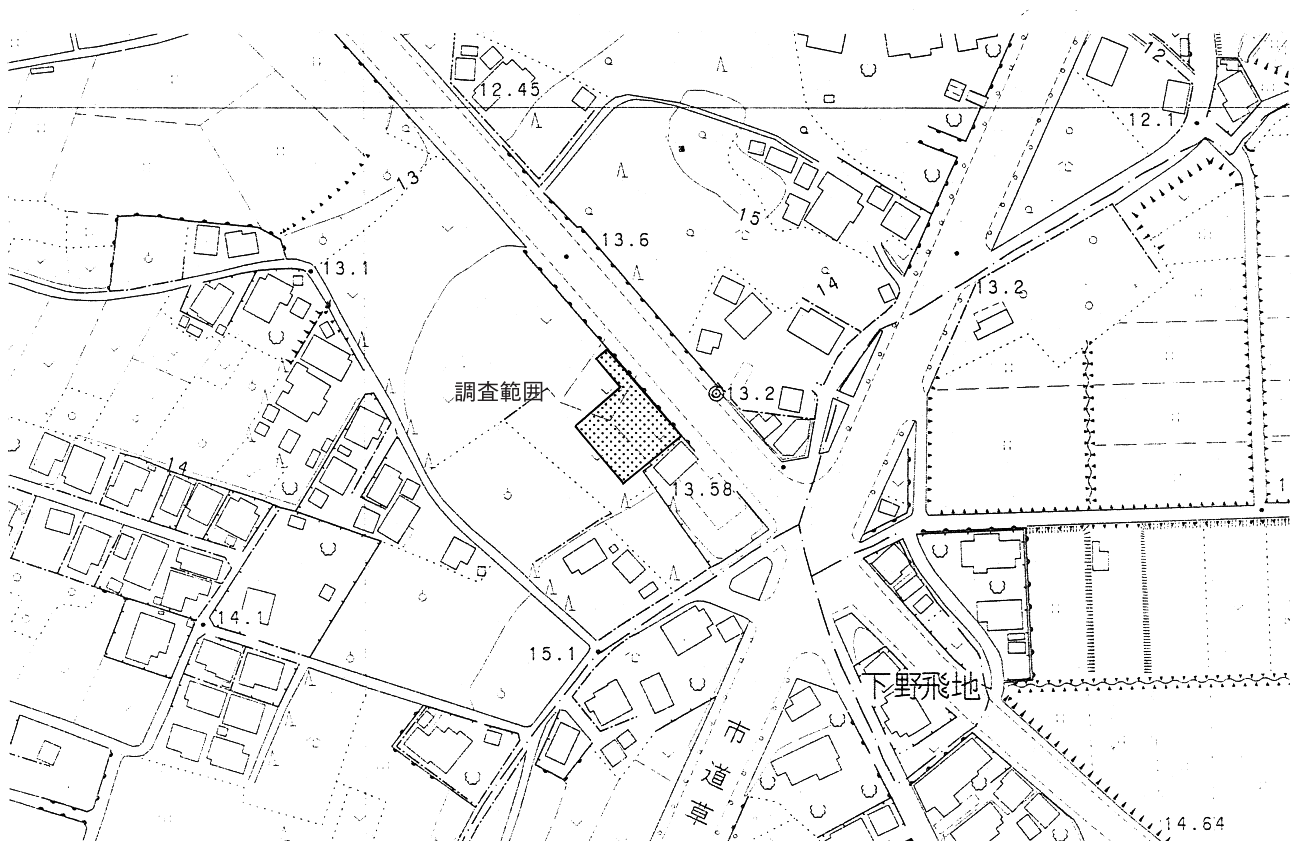
**調査面積** 1,070㎡（本調査）

**調査概要** 遺跡は、北側に村田川中流域を望む、標高13m前後の段丘面上に位置する。周囲は、これまでに隣接する東側において、1992年に潤井戸西山遺跡B地点（草刈尾梨遺跡）として調査が行われ、弥生時代中期後半及び古墳時代前～後期の竪穴住居跡等を検出した。また、潤井戸西山遺跡B地点の東隣地では、都市計画道路建設に伴う発掘調査が潤井戸西山遺跡A地点として1986年に行われ、古墳時代～奈良時代に至る竪穴住居跡や、門や柵列などが検出されている。最近では、本地点に西隣する場所において2003年度に調査が行われており、上記時代の遺構の痕跡が認められた。

今回の調査では、古墳時代後期を中心とする竪穴住居跡などが検出された。遺構の多くが削平されてしまっており、竪穴住居跡は痕跡がかるうじて残っているのみであった。

遺物は、古墳時代の土師器・須恵器のみならず、弥生時代の土器片も多数出土しており、かつて弥生時代の遺構も数多く存在していたことを窺わせる。他の遺物としては、勾玉や有孔円板が出土している。

**報告書** 小川浩一 2005「市原市潤井戸西山遺跡D地点」(財)市原市文化財センター調査報告書第95集 (小川浩一)



調査範囲と周辺地形図（1/2,500）

## 19. <sup>ふにゅう</sup>不入遺跡

事業名 市内遺跡発掘調査

所在地 市原市久保793

調査期間 平成16年5月17日～平成16年5月21日

調査面積 1,188.16㎡のうち118.8㎡（確認調査）

調査概要 墓地造成工事にともない、確認調査を実施した。遺跡は、養老川上流域右岸の河岸段丘面に所在し、調査地点付近の標高は約51mを測る。東側河岸段丘斜面部には永田・不入窯が分布する。遺跡は、弥生・奈良・平安時代の包蔵地として登録されているが、永田・不入窯操業時には、その工房および集落が展開していたものと推定される。確認調査は、ほぼ東西方向に5カ所のトレンチを設定して行った。結果、今回の調査区では、縄文時代と推定される陥し穴1基の検出にとどまった。

## 20. <sup>うるいどにしやま</sup>潤井戸西山遺跡

事業名 市内遺跡発掘調査

所在地 市原市草刈尾梨194-1

調査期間 平成16年5月26日～平成16年6月4日

調査面積 2,500㎡のうち250㎡（確認調査）

調査概要 店舗建設にともない確認調査を実施した。

潤井戸西山遺跡は、村田川左岸の河岸段丘上に立地する遺跡であり、過去3次の発掘調査が行われてる。今回の調査区（D地点）は、環濠集落の中央部分にあたるが、過去に徹底した破壊が行われていたため、遺構の遺存状況はきわめて不良であった。断片的に検出された遺構は、竪穴住居跡6軒、溝1条、縄文時代の陥し穴1基などであるが、これは、おそらく本来存在していたであろう遺構のごく一部であると思われる。出土土器は、弥生時代中期宮ノ台式、古墳時代前期、古墳時代中期和泉式から鬼高式前半期、奈良時代であり、過去の調査で検出された遺構時期におおむね対応する。詳細は、「市原市内遺跡発掘調査報告」に掲載している。また、確認調査に引き続き本調査を実施しており、本年度末に報告書が刊行されている。

小川浩一 2005「市原市潤井戸西山遺跡D地点」(財)市原市文化財センター調査報告書第95集

## 21. <sup>あねさきさんしん</sup>姉崎山新遺跡

事業名 市内遺跡発掘調査

所在地 市原市姉崎字堂ノ内1599-3

調査期間 平成16年6月14日～平成16年6月18日

調査面積 258.13㎡のうち26㎡（確認調査、内3㎡本調査）

**調査概要** 個人住宅建設にともない確認調査を実施した。また、浄化槽設置部分については、一部本調査を行った。

遺跡は、姉崎地区の海岸平野に形成された砂堆上に立地し、南西側約350mには姉崎二子塚古墳が所在する。山新遺跡は、本年報別項に記載されているように、本調査地点北側に隣接する都市計画道路八幡椎津線の建設工事にともない、断続的に発掘調査が行われ、姉崎古墳群山新支群とも呼称すべき古墳群が検出されている。本調査区でも、古墳時代前期末と推定される円墳1基が検出された。

## 22. 江子田<sup>えこだ</sup>遺跡

**事業名** 市内遺跡発掘調査

**所在地** 市原市江子田字送り神307-195

**調査期間** 平成16年7月20日～平成16年7月28日

**調査面積** 162.17㎡のうち16㎡（確認調査）、4.7㎡（本調査）

**調査概要** 個人住宅建設にともなう確認調査。事前に行われた試掘の結果、浄化槽設置位置に竪穴住居跡が検出されていたため、この部分については本調査を実施した。

遺跡は、養老川中流域右岸の台地上に立地する。周辺には江子田古墳群が分布し、金環塚古墳とも近接する。調査の結果、竪穴住居跡5軒が検出され、一部詳細が明らかではないが、おおむね古墳時代後期に比定される。本調査部分は、竪穴住居跡カマド脇であったこともあり、甕形土器を中心に土器多数が検出された。

## 23. 郡本<sup>こおりもと</sup>遺跡

**事業名** 市内遺跡発掘調査

**所在地** 市原市郡本4丁目40・80・81

**調査期間** 平成16年9月7日～平成16年9月10日

**調査面積** 調査対象面積460.02㎡（調査面積12㎡）

**調査概要** 個人住宅建設にともなう確認調査。遺跡は、市原台地の東京湾岸平野部に面する台地上に立地する。郡本遺跡群の一角にあり、人面土器が出土している三嶋台遺跡にも近接している。

事前に行われた試掘の結果、遺物、貝層が認められたため、確認調査を実施することとなったが、調査の結果、土層の堆積は、本来のものとはとらえられなかった。貝層は、全体に硬化する暗褐色土層中にブロック状で認められたが、一括投棄ないしは天地返しによると推定された。ただし、貝層自体は、貝層内の出土遺物から、平安時代に遡る可能性が高い。

**報告書** 『平成16年度市原市内遺跡発掘調査報告』2005年 市原市教育委員会 （大村 直）

## 山倉古墳群発掘調査報告書：補遺

**調査概要** 山倉古墳群は養老川下流右岸の国分寺台地区東南隅に位置する。標高45mほどの台地突端にあり、南側の沖積地を見下ろす立地である。発掘調査は国分寺台地区の土地区画整理事業に先立ち、1974年から1975年にかけて、上総国分寺台遺跡調査団によって行われた。

古墳群は、前期方墳2基（6・5号墳）・中期初めの円墳1基（4号墳）・後期前半の帆立貝形古墳1基（3号墳）・後期後半の円墳（2号墳）・後期末（TK209型式期）の前方後円墳1基（1号墳）で構成される。その他に、墳丘封土内外から、弥生終末期の竪穴住居跡2棟、中世の蔵骨器（常滑大甕：4型式）、中世以降の道路跡、縄文早期土坑、縄文土器・石器類などが検出されている。

今年度は、平成14年度から行ってきた整理作業を終え、報告書を刊行した（小橋・櫻井他2004）。遺跡の詳細については報告書と以下の補遺を参照されたい。

**報告書補遺** 所在不明として記載した遺物を報告書刊行後に確認できた。また、一部の記述を修正する必要が生じたので、合わせて以下に挙げ、報告書の補遺とする。

### 1 所在不明だった遺物

- ・報告第106図5（弥生土器 小型鉢）最終校正段階で遺物の所在が判ったため、本文・表は修正できたものの写真が掲載できなかった。写真1を掲載する。
- ・報告第108図15（石器 石皿）所在を確認した。遺物観察表を以下の内容に改め、写真2を掲載する。「遺構：1号土坑、種別：石皿、石材：安山岩、遺存：完形、色調：2.5Y6/1黄灰～2.5Y7/4浅黄、特徴：両平面とも大きく窪み、直径20cm程度が使用によって特に平滑になっている。全面が磨滅気味である、長軸：28.4cm、短軸：27.4cm、最厚部：9.3cm、最薄部3.0cm、重量：9510g」
- ・（横穴式石室石材）注記がなく、調査時の写真による照合も困難なため確定できないが、直線的な切断面を持たない様子から、山倉1号墳の石室石材である可能性が高い。長軸48cm、短軸33cm、厚さ15cmで、平坦面にニオガイ等の貝による穿孔痕が密に並ぶ。写真3・4を掲載する。

### 2 訂正および再検討による変更

- ・報告第43図92（円筒埴輪片外面拓影）図2の通りに差し替える。
- ・報告図版96（ハケメB上の写真）写真5の通りに80%縮小する。
- ・報告第53図1（筒袖表現の人物埴輪全身像）図3の通り、赤彩部位を追加する。ただし、顔面部赤彩は明瞭だが、着衣表現の凸帯部については不明瞭である。
- ・報告第11表（P地点ハケメ識別変更）平成16年度企画展の準備において鴻巣市教育委員会から生出塚遺跡P地点報告資料を借用した。その際に再確認したところ、拓影同士を照合した資料を中心として識別に誤りのあることが判明した。また同時に、山倉古墳群の報告資料中にはないハケメの存在することも明らかになった。表1・2の通りに変更する。

P地点・46地点における報告・報告予定資料と一致するハケメの種類は表1・2の通りで、P地点が山倉-B・D・E・F・H・K・L、46地点が山倉-B・D・E・F・H・L（報告外に山倉-A・I・J）ということになる。また、生出塚遺跡P地点（31号窯）および同一支群を構成する隣接の46地点（39・40号窯）の報告・報告予定資料には山倉1号墳以外のハケメが確認できる。P地点で識別した6種類（生P-A～Hとする）、46地点で識別した17種類（生46-A～Qとする）である。なお、生出塚遺跡

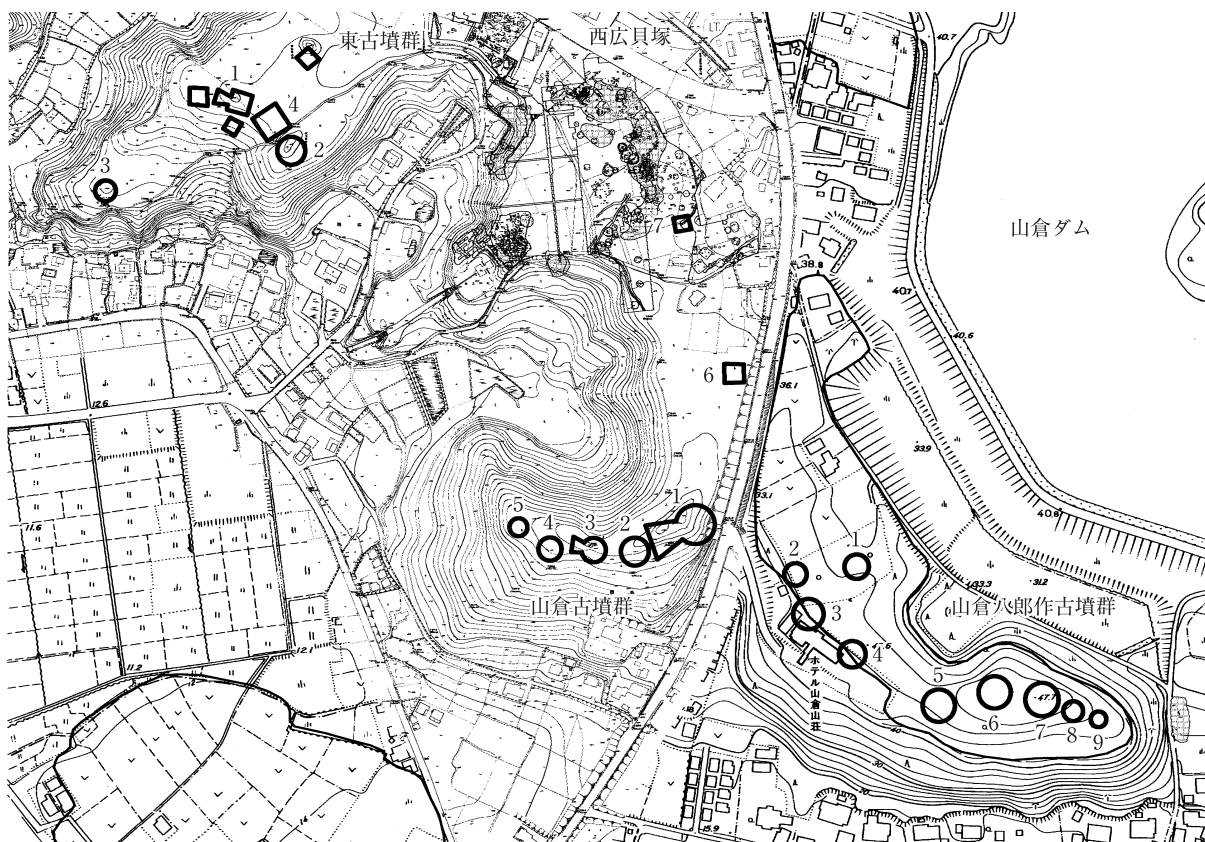


図1 山倉古墳群周辺地形図



写真1



写真2



写真3

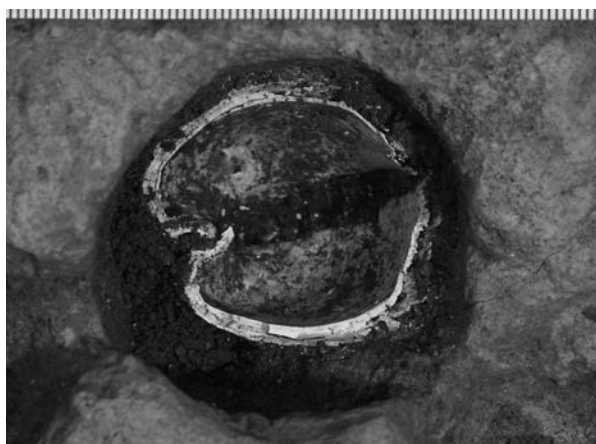


写真4

20号窯出土水鳥形埴輪のハケメについても、条線の一部が山倉-Kと一致するものの別工具によるものであることが確認できた。このため、ハケメ工具の属人性に基づいた山倉工人Kとの関係についての記述は撤回したい。

製作者ごとの製作数の違い、各焼成機会における欠損品の発生割合、複数回の焼成による遺物相の上書きおよび攪乱等の様々な要因が、埴輪生産の証拠を完全な形で現代に残す可能性を狭めていることは否定できない。そのような考古学的情況を考慮に入れると、報告で「すべてのハケメが生田遺跡で確認できる」とした場合の直接的な示唆からは確かに後退せざるを得ないが、以上のように多くのハケメが同一の生産遺跡に遺存している状況は、山倉1号墳の埴輪が生田遺跡P地点・46地点内の窯で焼成されたという仮説が、依然として蓋然性の高いものであることを示すと言える。

山倉1号墳の埴輪と生田遺跡における埴輪生産の関係については、46地点出土埴輪の検討をふまえた別稿を準備中である（『埴輪研究会誌』第9号（2005年刊行）に掲載予定）。さらなる詳細については、そちらの参照を願いたい。

**謝 辞** 生田遺跡出土埴輪の見学に際しては、山崎武氏（鴻巣市教育委員会）・菅原龍彦氏（早稲田大学大学院）より多大なご協力を賜りました。文末となりましたが、記して感謝申し上げます。

（小橋健司）

山崎 武 1999『生田遺跡（P地点）』鴻巣市遺跡調査会報告書第9集 埼玉県鴻巣市遺跡調査会

小橋健司・櫻井敦史他 2004『市原市山倉古墳群』第85集 財団法人市原市文化財センター

財団法人市原市文化財センター 2004『はにわの来たみち』私たちの文化財特別号 財団法人市原市文化財センター

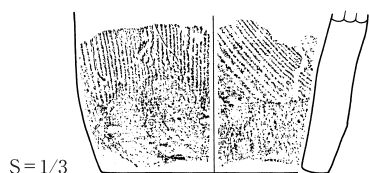


図2

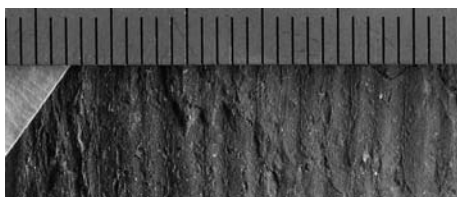


写真5

| ハケメ  | 報告番号                                               | 数量 | ハケメ           | 報告番号            | 数量 |
|------|----------------------------------------------------|----|---------------|-----------------|----|
| 山倉-A | なし※                                                | 0  | 生P-A          | 2・18(逆)         | 2  |
| 山倉-B | 4・5・8・10・<br>11・12・16・<br>17・21・26・<br>27・29・35・40 | 14 | 生P-B          | 15・25・31・<br>32 | 4  |
| 山倉-D | 7・28・34・<br>38・41                                  | 5  | 生P-C          | 37              | 1  |
| 山倉-E | 9・42                                               | 2  | 生P-D          | 30              | 1  |
| 山倉-F | 6・19                                               | 2  | 生P-E          | 24              | 1  |
| 山倉-G | なし                                                 | 0  | 生P-F          | 14              | 1  |
| 山倉-H | 3・23?                                              | 2  | 生P-G          | 39              | 1  |
| 山倉-I | なし※                                                | 0  | 生P-H          | 47家             | 1  |
| 山倉-J | なし※                                                | 0  | 生46-K         | 20・22・33        | 3  |
| 山倉-K | 1・13                                               | 2  | 生46-M         | 43              | 1  |
| 山倉-L | 36                                                 | 1  | ※46地点報告外資料にあり |                 |    |

生田遺跡P地点報告資料のハケメ

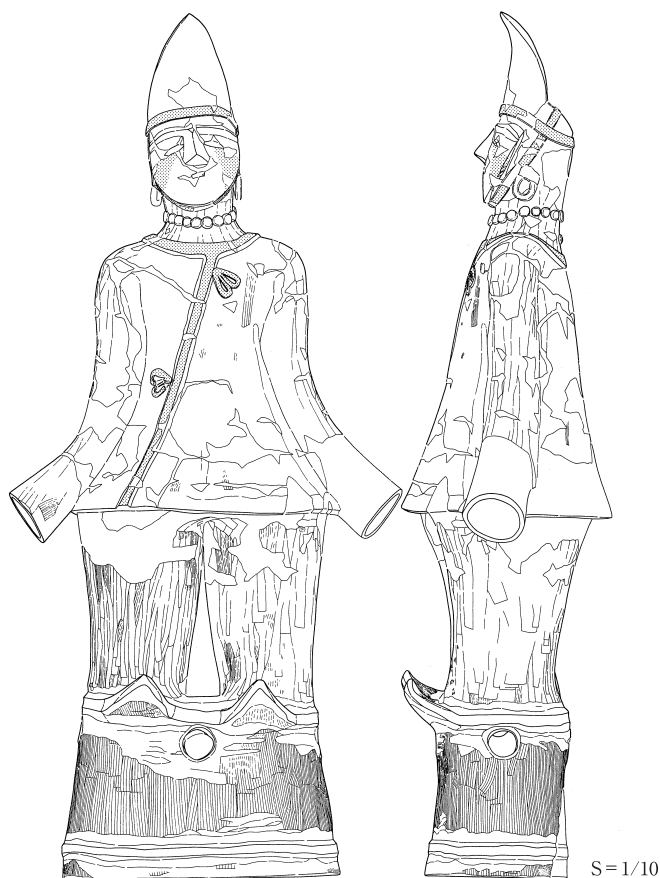


図3

## Ⅳ 図書受領先一覧

※平成16年12月末現在で受領したものである。

名称は入力時のものであり、現在の組織名と異なる場合がある。

|                     |                         |
|---------------------|-------------------------|
| いわき市教育委員会           | 茅ヶ崎市教育委員会               |
| えびの市教育委員会           | 岩見町教育委員会                |
| お茶の水女子大学            | 岩手県教育委員会                |
| かみつけの里博物館           | 岩滝町教育委員会                |
| さいたま市遺跡調査会          | 嬉野町教育委員会                |
| さいたま市教育委員会          | 寄居町遺跡調査会                |
| さいたま市立博物館           | 久留米市教育委員会               |
| ひたちなか市教育委員会         | 宮崎県埋蔵文化財センター            |
| 阿東町教育委員会            | 京都府京都文化博物館              |
| 愛知県埋蔵文化財センター        | 境川村教育委員会                |
| 一宮市博物館              | 玉川文化財研究所                |
| 一宮町教育委員会            | 金沢大学文学部考古学研究室           |
| 印西市教育委員会            | 金沢大学文学部考古学講座            |
| 宇治市歴史資料館            | 九州歴史資料館                 |
| 栄町教育委員会             | 熊本大学文学部考古学研究室           |
| 横須賀市教育委員会           | 君津市教育委員会                |
| 横須賀市自然・人文博物館        | 群馬県立歴史博物館               |
| 横浜市歴史博物館            | 群馬町教育委員会                |
| 岡山市教育委員会            | 郡山市教育委員会                |
| 岡山理科大学人類学研究室        | 古川市教育委員会                |
| 岡山理科大学図書館           | 向日市教育委員会                |
| 下総町教育委員会            | 広島県教育委員会                |
| 我孫子市教育委員会           | 広島大学大学院文学研究科帝釈遺跡発掘調査室   |
| 各務原市教育委員会           | 港区立港郷土資料館               |
| 各務原市埋蔵文化財センター       | 行田市教育委員会                |
| 各務原市埋蔵文化財調査センター     | 香川町教育委員会                |
| 角田市教育委員会            | 高松市教育委員会                |
| 学校法人加計学園岡山理科大学人類学教室 | 高槻市教育委員会文化財課埋蔵文化財調査センター |
| 葛飾区教育委員会            | 鴻巣市教育委員会                |
| 株式会社玉川文化財研究所        | 国際航業株式会社社会情報事業本部文化財事業部  |
| 株式会社山川出版社           | 国分寺市教育委員会               |
| 鎌ヶ谷市教育委員会           | 国立国会図書館                 |
| 鎌倉市教育委員会            | 国立歴史民俗博物館               |

|                               |
|-------------------------------|
| 佐賀県教育委員会                      |
| 佐原市教育委員会                      |
| 佐倉市教育委員会                      |
| 財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構            |
| 財団法人いわき市教育文化事業団               |
| 財団法人かながわ考古学財団                 |
| 財団法人ひたちなか市文化・スポーツ振興公社         |
| 財団法人愛知県教育サービスセンター愛知県埋蔵文化財センター |
| 財団法人愛媛県埋蔵文化財調査センター            |
| 財団法人茨城県教育財団                   |
| 財団法人印旛郡市文化財センター               |
| 財団法人横浜市ふるさと歴史財団埋蔵文化財センター      |
| 財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター       |
| 財団法人岐阜県教育文化財団文化財保護センター        |
| 財団法人吉田町地域振興事業団                |
| 財団法人京都市埋蔵文化財研究所               |
| 財団法人京都府埋蔵文化財調査研究センター          |
| 財団法人栗東市文化体育振興事業団              |
| 財団法人君津郡市文化財センター               |
| 財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団             |
| 財団法人元興寺文化財研究所                 |
| 財団法人向日市埋蔵文化財センター              |
| 財団法人広島県教育事業団埋蔵文化財調査室          |
| 財団法人広島市文化財団                   |
| 財団法人香取郡市文化財センター               |
| 財団法人香川県埋蔵文化財調査センター            |
| 財団法人高知県文化財団埋蔵文化財センター          |
| 財団法人埼玉県埋蔵文化財調査事業団             |
| 財団法人桜井市文化財協会                  |
| 財団法人山形県埋蔵文化財センター              |
| 財団法人山口県教育財団山口県埋蔵文化財センター       |
| 財団法人山武郡市文化財センター               |
| 財団法人滋賀県文化財保護協会                |
| 財団法人鹿嶋市文化スポーツ振興事業団            |
| 財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団             |
| 財団法人水沢市文化振興財団水沢市埋蔵文化財調査センター   |

|                             |
|-----------------------------|
| 財団法人瀬戸市埋蔵文化財センター            |
| 財団法人静岡県埋蔵文化財調査研究所           |
| 財団法人仙台市歴史文化事業団仙台市富沢遺跡保存館    |
| 財団法人千葉県史料研究財団               |
| 財団法人千葉県文化財センター              |
| 財団法人千葉市教育振興財団埋蔵文化財調査センター    |
| 財団法人船橋市文化・スポーツ公社埋蔵文化財センター   |
| 財団法人総南文化財センター               |
| 財団法人大阪市文化財協会                |
| 財団法人大阪府文化財センター              |
| 財団法人長岡京市埋蔵文化財センター           |
| 財団法人長野県文化振興事業団長野県埋蔵文化財センター  |
| 財団法人鳥取県教育文化財団埋蔵文化財センター      |
| 財団法人鳥取市文化財団鳥取市埋蔵文化財調査センター   |
| 財団法人士岐市埋蔵文化財センター            |
| 財団法人東京都生涯学習文化財団東京都埋蔵文化財センター |
| 財団法人東広島市教育文化振興事業団文化財センター    |
| 財団法人東総文化財センター               |
| 財団法人徳島県埋蔵文化財センター            |
| 財団法人八尾市文化財調査研究会             |
| 財団法人浜松市文化協会                 |
| 財団法人富山県文化振興財団埋蔵文化財調査事務所     |
| 財団法人福島市振興公社                 |
| 財団法人北海道埋蔵文化財センター            |
| 財団法人北九州市芸術文化振興財団埋蔵文化財調査室    |
| 財団法人枚方市文化財研究調査会             |
| 財団法人和歌山県文化財センター             |
| 財団法人和歌山市文化体育振興事業団           |
| 埼玉県教育局・埼玉県立埋蔵文化財センター        |
| 埼玉県立さきたま資料館                 |
| 埼玉県立博物館                     |
| 埼玉県立埋蔵文化財センター               |
| 埼玉県立歴史資料館                   |
| 三股町教育委員会                    |
| 三田市教育委員会                    |
| 三島市教育委員会                    |

|                  |
|------------------|
| 山形県立博物館          |
| 山形市教育委員会         |
| 山口県教育委員会         |
| 山武考古学研究所         |
| 四街道市教育委員会        |
| 四日市市教育委員会        |
| 市原市教育委員会         |
| 市原市地方史研究連絡協議会    |
| 市川市教育委員会         |
| 市立市川考古博物館        |
| 志本市教育委員会         |
| 滋賀県教育委員会         |
| 滋賀県立琵琶湖博物館       |
| 鹿児島市教育委員会        |
| 鹿児島大学埋蔵文化財調査室    |
| 芝山町教育委員会         |
| 秋田県教育委員会         |
| 秋田県埋蔵文化財センター     |
| 秋田市教育委員会         |
| 春日部市遺跡調査会        |
| 春日部市教育委員会        |
| 小学館              |
| 小金井市教育委員会伊藤富治夫   |
| 小郡市教育委員会         |
| 小郡市埋蔵文化財センター     |
| 小高春雄             |
| 小田原市教育委員会        |
| 庄原市教育委員会         |
| 松戸市遺跡調査会         |
| 松戸市教育委員会         |
| 松本市教育委員会         |
| 沼津市教育委員会         |
| 上高津貝塚ふるさと歴史の広場   |
| 城西国際大学物質文化研究センター |
| 城陽市教育委員会         |
| 常呂町教育委員会         |

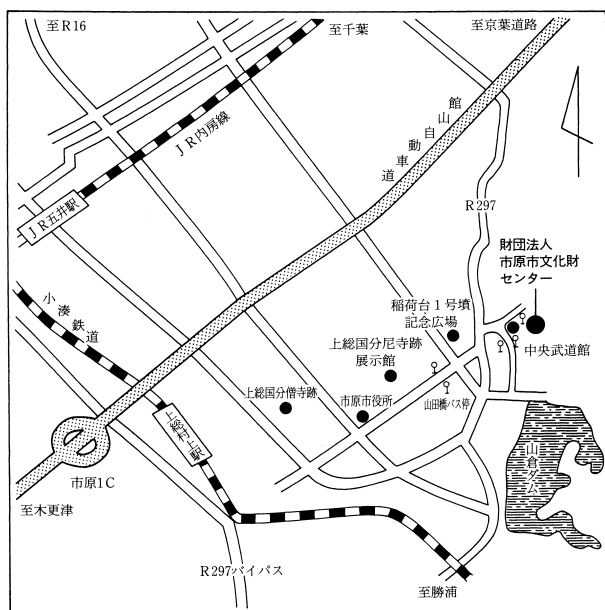
|                          |
|--------------------------|
| 新旭町教育委員会                 |
| 新潟県立歴史博物館                |
| 榛原町教育委員会                 |
| 神奈川県教育委員会                |
| 神奈川県教育庁生涯学習文化財課          |
| 水野正好                     |
| 杉山晋作                     |
| 世田谷区立郷土資料館               |
| 星野富弘花の誌画展実行委員会           |
| 清水町立郷土資料館                |
| 盛岡市遺跡学びの館                |
| 盛岡市教育委員会                 |
| 西相文化財研究所                 |
| 青山学院大学文学部史学科研究室          |
| 青森県教育庁文化財保護課             |
| 青森県郷土館                   |
| 青森県埋蔵文化財調査センター           |
| 青森市教育委員会                 |
| 石和町教育委員会                 |
| 仙台市教育委員会                 |
| 千歳市教育委員会                 |
| 千葉県教育庁教育振興部文化財課長         |
| 千葉県文化財保護協会               |
| 千葉県文化財法人連絡協議会            |
| 千葉県文書館                   |
| 千葉県立安房博物館                |
| 千葉県立関宿城博物館               |
| 千葉県立上総博物館                |
| 千葉県立大利根博物館               |
| 千葉県立中央博物館                |
| 千葉県立博物館セミナー千葉学講座報告集編集委員会 |
| 千葉県立房総風土記の丘              |
| 千葉市教育委員会                 |
| 千葉市立加曽利貝塚博物館             |
| 千葉大学文学部考古学研究室            |
| 川越市遺跡調査会                 |

|                                |
|--------------------------------|
| 川口市遺跡調査会                       |
| 川口市教育委員会                       |
| 川崎市教育委員会                       |
| 川崎市民ミュージアム                     |
| 泉佐野市教育委員会                      |
| 泉南市教育委員会                       |
| 船橋市教育委員会                       |
| 船橋市教育委員会文化課埋蔵文化財調査事務所          |
| 前原市教育委員会                       |
| 全国埋蔵文化財法人連絡協議会                 |
| 倉敷埋蔵文化財センター                    |
| 早稲田大学シルクロード調査研究所・早稲田大学比較考古学研究所 |
| 早稲田大学先史考古学研究所                  |
| 早稲田大学考古学会                      |
| 早稲田大学考古学研究室                    |
| 早稲田大学會津八一記念博物館                 |
| 相模原市教育委員会                      |
| 足立区立郷土博物館                      |
| 袖ヶ浦市教育委員会                      |
| 袖ヶ浦市郷土博物館                      |
| 多賀町教育委員会                       |
| 袋井市教育委員会                       |
| 大安町教育委員会                       |
| 大井町教育委員会                       |
| 大栄町教育委員会                       |
| 大学共同利用機関法人人間文化研究機構国立歴史民俗博物館    |
| 大阪大学文学研究科考古学研究室                |
| 大阪大学埋蔵文化財調査委員会                 |
| 大阪府教育委員会                       |
| 大阪府立近つ飛鳥博物館                    |
| 大阪歴史博物館                        |
| 大田区教育委員会                       |
| 大田区立郷土博物館                      |
| 大島町教育委員会                       |
| 大分県教育委員会                       |
| 大分県教育庁埋蔵文化財センター                |

|                       |
|-----------------------|
| 大分市歴史資料館              |
| 大和高田市教育委員会            |
| 滝沢村教育委員会              |
| 滝沢村埋蔵文化財センター          |
| 筑波大学歴史・人類学系先史学・考古学コース |
| 朝倉町教育委員会              |
| 朝日町教育委員会              |
| 調布市教育委員会              |
| 調布市郷土博物館              |
| 長岡京市教育委員会             |
| 長坂町教育委員会              |
| 長崎県教育庁原の辻遺跡調査事務所      |
| 長南町教育委員会              |
| 長野原町教育委員会             |
| 鳥取県教育委員会              |
| 鳥取県立博物館               |
| 鳥取市教育委員会              |
| 津久井町教育委員会             |
| 津市埋蔵文化財センター           |
| 帝京大学山梨文化財研究所          |
| 帝塚山大学考古学研究所           |
| 田所真                   |
| 田中清美                  |
| 土浦市立博物館               |
| 土佐山田町教育委員会            |
| 島根県教育庁古代文化センター        |
| 東海大学校地内遺跡調査団          |
| 東京国立博物館               |
| 東京都北区教育委員会            |
| 東京都立大学考古学研究室人類誌調査グループ |
| 東金市教育委員会              |
| 東村山ふるさと歴史館            |
| 東村山市遺跡調査会             |
| 東北芸術工科大学歴史遺産学科        |
| 東洋大学文学部史学科            |
| 藤沢市教育委員会              |

|                           |
|---------------------------|
| 同志社大学考古学研究室               |
| 特定非営利活動法人国際縄文学協会          |
| 独立行政法人文化財研究所奈良文化財研究所      |
| 独立行政法人文化財研究所奈良文化財研究所飛鳥資料館 |
| 独立行政法人文化財研究所埋蔵文化財センター     |
| 栃木県しもつけ風土記の丘資料館           |
| 栃木県教育委員会                  |
| 栃木県立しもつけ風土記の丘資料館          |
| 栃木県立なす風土記の丘資料館            |
| 奈半利町教育委員会                 |
| 奈良県立橿原考古学研究所              |
| 奈良市教育委員会                  |
| 奈良大学文学部文化財学科              |
| 奈良文化財研究所                  |
| 橿葉町教育委員会                  |
| 南アルプス市教育委員会               |
| 南串山町教育委員会                 |
| 南国市教育委員会                  |
| 南山大学人類学博物館                |
| 日田市教育委員会                  |
| 日本考古学会                    |
| 日本窯業史研究所                  |
| 日立市教育委員会                  |
| 能登川町教育委員会                 |
| 能登川町埋蔵文化財センター             |
| 柏市教育委員会                   |
| 白井市教育委員会                  |
| 八王子市教育委員会                 |
| 八街市教育委員会                  |
| 八千代市遺跡調査会                 |
| 八千代市教育委員会                 |
| 八千代市立郷土博物館                |
| 鳩ヶ谷市教育委員会                 |
| 鳩山町教育委員会                  |
| 磐田市教育委員会                  |
| 飛ノ台史跡公園博物館                |

|                   |
|-------------------|
| 浜松市教育委員会          |
| 富士見市教育委員会         |
| 富津市教育委員会          |
| 武蔵大学人文学会          |
| 福岡県教育委員会          |
| 福岡大学考古学研究室        |
| 文化環境研究所           |
| 文京区遺跡調査会          |
| 平塚市               |
| 法政考古学会            |
| 豊橋市教育委員会教育部美術博物館  |
| 豊田市教育委員会          |
| 防府市教育委員会          |
| 北九州市立自然史・歴史博物館    |
| 北区教育委員会           |
| 名久井文明             |
| 名古屋市博物館           |
| 名古屋大学文学研究科考古学研究室  |
| 明治大学考古学博物館        |
| 明治大学博物館           |
| 明野村教育委員会          |
| 木更津市教育委員会         |
| 野田市教育委員会          |
| 立教大学学校・社会教育講座     |
| 流山市教育委員会          |
| 流山市立博物館           |
| 鈴鹿市考古博物館          |
| 練馬区教育委員会          |
| 和歌山県教育庁生涯学習局文化遺産課 |
| 國學院大學考古学資料館       |



〔交通案内〕

- JR 東日本内房線五井駅下車  
五井駅東口より中央武道館行バスあり  
終点 文化財センター下車徒歩2分
- JR 東日本内房線八幡宿駅下車  
八幡宿駅西口より市原市役所経由国分寺台行  
又は千葉県こどもの国行 山田橋下車  
徒歩5分 市原中学校入り口に入る
- 館山自動車道市原ICを降り  
市原市役所方向へ車で15分

---

## 市原市文化財センター年報

(平成15・16年度)

平成17年3月25日 発行

発 行 財団法人 市原市文化財センター  
〒290-0011 千葉県市原市能満1,489番地  
TEL 0436(41)7300  
FAX 0436(42)0133  
e-mail ihbc@hkg.odn.ne.jp

印 刷 株式会社 正文社  
〒260-0001 千葉県千葉市中央区都町1-10-6  
TEL 043(233)2235

---